

神奈川県  
SDGs社会的インパクト評価実証事業（2020年度）

# 事業者・金融機関へのアンケート・ヒアリング 調査報告書

2021年3月24日  
ケイスリー株式会社

前提：神奈川県におけるSDGs推進

1. 調査の目的と実施概要

2. 調査結果と実践ヒント集・提言集

1. 事業者

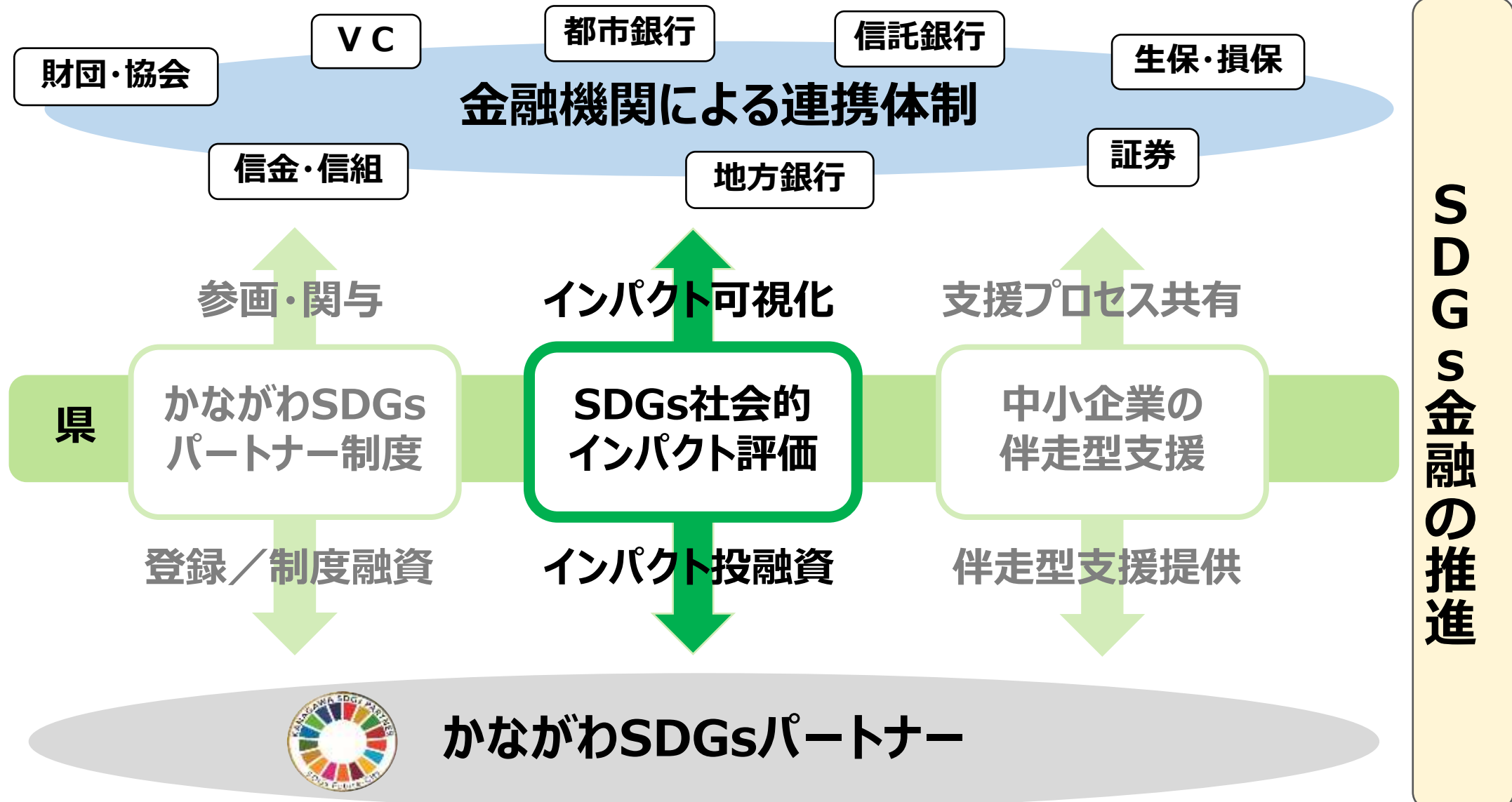
2. 金融機関

3. 自治体

参考資料：調査結果詳細

# 前提：神奈川県におけるSDGs推進

- 神奈川県ではSDGs推進において、かながわSDGsパートナー制度、中小企業の伴走型支援とSDGs社会的インパクト評価実証事業を柱とし、県がコーディネーター役となり、事業者と資金提供者の連携、社会的投資の促進を図るSDGs金融を推進

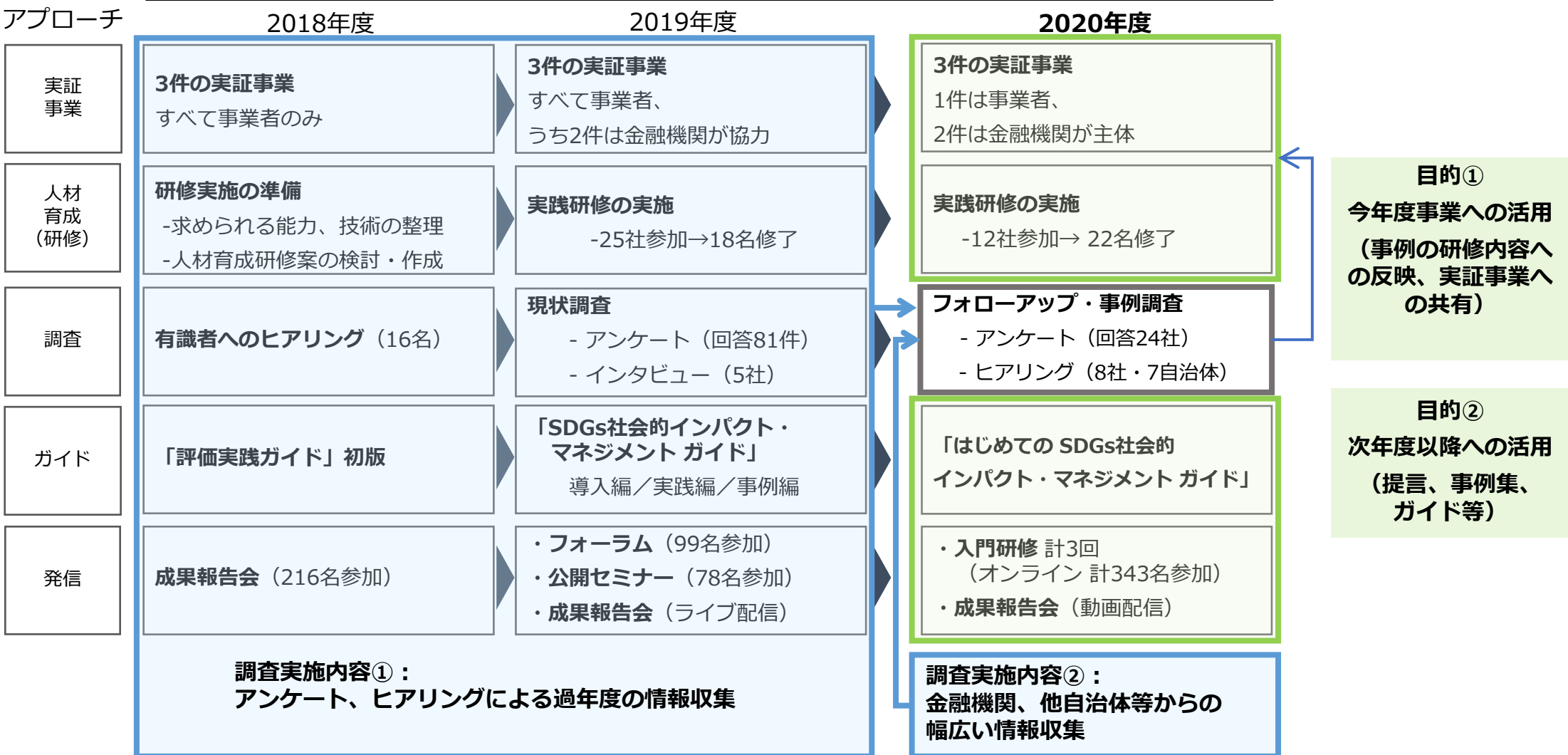


※社会的インパクト評価とは、社会的インパクトを定量的・定性的に把握し、当該事業や活動について価値判断を加えること  
※社会的インパクト・マネジメントとは、事業が社会や地域に与える影響を可視化し、ポジティブな影響の増加やネガティブな影響を抑制するための事業改善や経営判断を行うマネジメント手法

# 1 調査の目的と実施概要

- 3か年の成果・課題の抽出や情報収集を通してSDGsインパクト・マネジメント推進に関する①2020年度事業への活用、②次年度以降活用するための提言・情報のまとめを目的とする



各年度の事業内容と成果



# 参考 SDGs推進に向けた「社会的インパクト評価システム」の導入について

## SDGs推進に向けた「社会的インパクト評価システム」の導入

自治体名：神奈川県

<b>1.地域特性と課題及び目標</b>	SDGs達成に向けては、民間の取組が重要であり、ビジネスとして持続的にSDGsを展開するためのファイナンスが課題となっている。そのため、SDGsに沿った取組の価値をインパクトとして「見える化」することにより企業等への社会的投資など、 <b>SDGs金融を推進し、事業者、資金提供者、消費者をつなぐエコシステムの形成に取り組む。</b>	<b>2.関連するゴール</b> 
<b>3.取組の概要</b> (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	非財務情報を測る「ものさし」となる社会的インパクトを定量的・定性的に把握し可視化。SDGsのゴール・ターゲットに、この社会的インパクトを関連付けることにより、SDGsへの貢献も可視化。かながわSDGsパートナーなどSDGsに取り組む事業者と、ベンチャーキャピタル、信用金庫、地方銀行等多様な資金提供者が連携する金融フレームワークにおいて、財務情報、非財務情報及びSDGsへの貢献を一体的に捉えることにより、社会的投資など、SDGs金融を推進する。	
<b>4.自治体SDGs推進等に向けた取組</b> 【かながわ版金融フレームワークによるSDGs金融の推進】 	<b>6.取組成果</b> <b>【SDGs社会的インパクト評価実証プロジェクト】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>計12件の実証事業を行い、SDGs経営に向けての活用を目的とした「SDGs社会的インパクト・マネジメント・ガイド（導入編、実践編、事例編）」を作成・公表。</li> <li>評価を担う人材育成に向けて、事業者、資金提供者、事業支援者の合計25者が参加した全10回の実践研修を実施。</li> <li>中小企業の伴走型支援を3件開始。</li> <li>ミュージックセキュリティーズ㈱と連携して、SDGsインパクトの可視化と資金調達を図る「かながわSDGsアクションファンド」を設置(2020年10月)</li> </ul> <b>【パートナーシップによる展開】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>横浜銀行との連携により、SDGsチェックシートを活用した「SDGsフレンドローン」を開始(19年10月)。利用実績：延べ3,052件、4,485億円(20年8月現在)</li> <li>かながわSDGsパートナー制度(334者)によりSDGsに取り組む企業等の裾野拡大</li> <li>SDGs達成に向けた新たなビジネス創出の機会として「かながわSDGsパートナーアクションミーティング」を開催(2020年2月。ブース出展19者、来場者350名)</li> <li>SDGインパクトを進めている国連開発計画(UNDP)と連携趣意書(SOI)締結</li> </ul>	
<b>5.取組推進の工夫</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 投融資の実効性を高めるため、ベンチャーキャピタル、信用金庫、地方銀行、都市銀行、機関投資家等の多様な資金提供者と緊密に対話し、事業性評価の1つとして、インパクト評価手法を検討。</li> <li>■ 官民連携PF社会的投資促進分科会を通じて、インパクト評価手法を検討し、他地域とも共有。</li> <li>■ 県内企業へのSDGs経営の浸透のため、横浜銀行と連携し、新たな商品を提供。</li> </ul>	<b>7.今後の展開策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パートナー制度、社会的インパクト評価とともに、SDGs経営に向けて、事業計画策定・実施・検証までをサポートする伴走型支援により、中小企業の取組を後押しをする。</li> <li>・ パートナー等事業者と資金提供者のマッチングを図り、社会的投資の促進・拡大など、SDGs金融を推進し、事業者、資金提供者、消費者をつなぐエコシステムの形成につなげる。</li> <li>・ グリーンボンド発行(20年10月 50億円)今後、発展形としてのSDGsボンドを検討。</li> <li>・ ジャパンSDGsアクション推進協議会を立ち上げ、UNDPと連携して「SDGsアクションフェスティバル」を2021年3月に開催。SDGs投資についても議論する予定。様々なステークホルダーの参画を得て、県民一人ひとりのアクションにつなげる。</li> </ul>	
<b>8.他地域への展開状況</b> (普及効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県等が主催した「SDGs全国フォーラム」で採択したSDGs日本モデル宣言について、当初は93自治体、現在は209に拡がる。全国フォーラムは、2021年1月 長野県が開催予定</li> <li>・ 「SDGs/ハイレベル政治フォーラム2020(HLPF)」公式会合に2年連続で招聘を受け、オンライン参加。UN Web TVを通じ世界に発信</li> </ul>	

# 1 調査概要 ～調査対象者～

- 2018年度、2019年度の神奈川県SDGsインパクト評価実証事業の関係者、および神奈川県の取り組みに親和性の高い関係者にアンケートとヒアリングを実施

	対象者	アンケート配布数	ヒアリング実施数
事業者	2018年度・2019年度の神奈川県SDGsインパクト評価実証事業関係者の内、2018年度と2019年度の実証事業参加者、2019年度の研修参加者にアンケートを実施。特に社会的インパクト・マネジメント実践の継続が見込まれる組織にヒアリングを実施	21社	4社
金融機関	2019年度の神奈川県SDGsインパクト評価実証事業の研修参加者にアンケートを実施。また、昨年度の研修参加の有無に関わらず、実際にESG投資やインパクト投資を推進、実施している組織にヒアリングを実施	11社	4社
行政	SDGs未来都市選定の自治体を中心に、先進的かつ神奈川県のSDGs推進の取り組みに親和性のある取り組みを行う自治体にヒアリングを実施	—	7自治体 (神奈川県含む)

# 1 調査概要 ～調査項目（事業者・金融機関）～

- 以下の調査項目で事業者と金融機関にアンケート調査とヒアリング調査を実施。まずアンケートで全体的な情報を収集し、ヒアリングにてより詳細に調査を行った

## 調査項目の概要

## 明らかにしたい事

現在の社会的インパクト・マネジメント実施状況	<ul style="list-style-type: none"><li>現在の社会的インパクト・マネジメント実施状況</li><li>実施上のうまくいっている点、成果</li><li>実施上の障壁や課題</li><li>社内外の実施後の変化、巻き込み状況</li></ul>	2018年度・2019年度の実践を基に、神奈川県SDGsインパクト・マネジメントモデル活用の成果と課題
SDGsインパクト・マネジメントモデル	<ul style="list-style-type: none"><li>金融機関との連携状況（事業者に対する項目）</li><li>2018年度、2019年度の神奈川県SDGsインパクト評価 実証事業に関して、自組織のSIM実施に有効だったもの</li></ul>	企業のSDGs達成に向けてSDGsインパクト・マネジメントモデルがどのように寄与するか
今後の実践の見通し	<ul style="list-style-type: none"><li>今後の社会的インパクト・マネジメント実施予定とその理由</li></ul>	各組織の状況を基に、組織の検討状況に合わせた推進に向けた対応策

# 1 調査概要 ～調査項目（行政）～

- 以下の調査項目で行政にヒアリング調査を実施

## 調査項目の概要

## 明らかにしたい事

マルチ ステーク ホルダー 連携施策	<ul style="list-style-type: none"><li>現在の施策や具体的な連携内容</li><li>実施上のうまくいっている点、成果</li><li>実施上の障壁や課題</li><li>地域金融機関との連携状況</li></ul>	SDGs推進先進自治体の取り組みから、SDGs インパクト・マネジメントモデルの発展可能性
SDGs推進の 取り組みの 評価について	<ul style="list-style-type: none"><li>SDGs推進の取り組みに対する評価の実 施状況</li></ul>	SDGsインパクト・マネジメントモデルの発 展のために参考になるSDGs推進の取り組み に関する評価事例
SDGs インパクト・ マネジメント モデル	<ul style="list-style-type: none"><li>SDGsインパクト・マネジメントモデル の活用可能性</li></ul>	神奈川県SDGsインパクト・マネジメント モデルの他自治体からの関心、活用可能性や 想定される導入時の課題



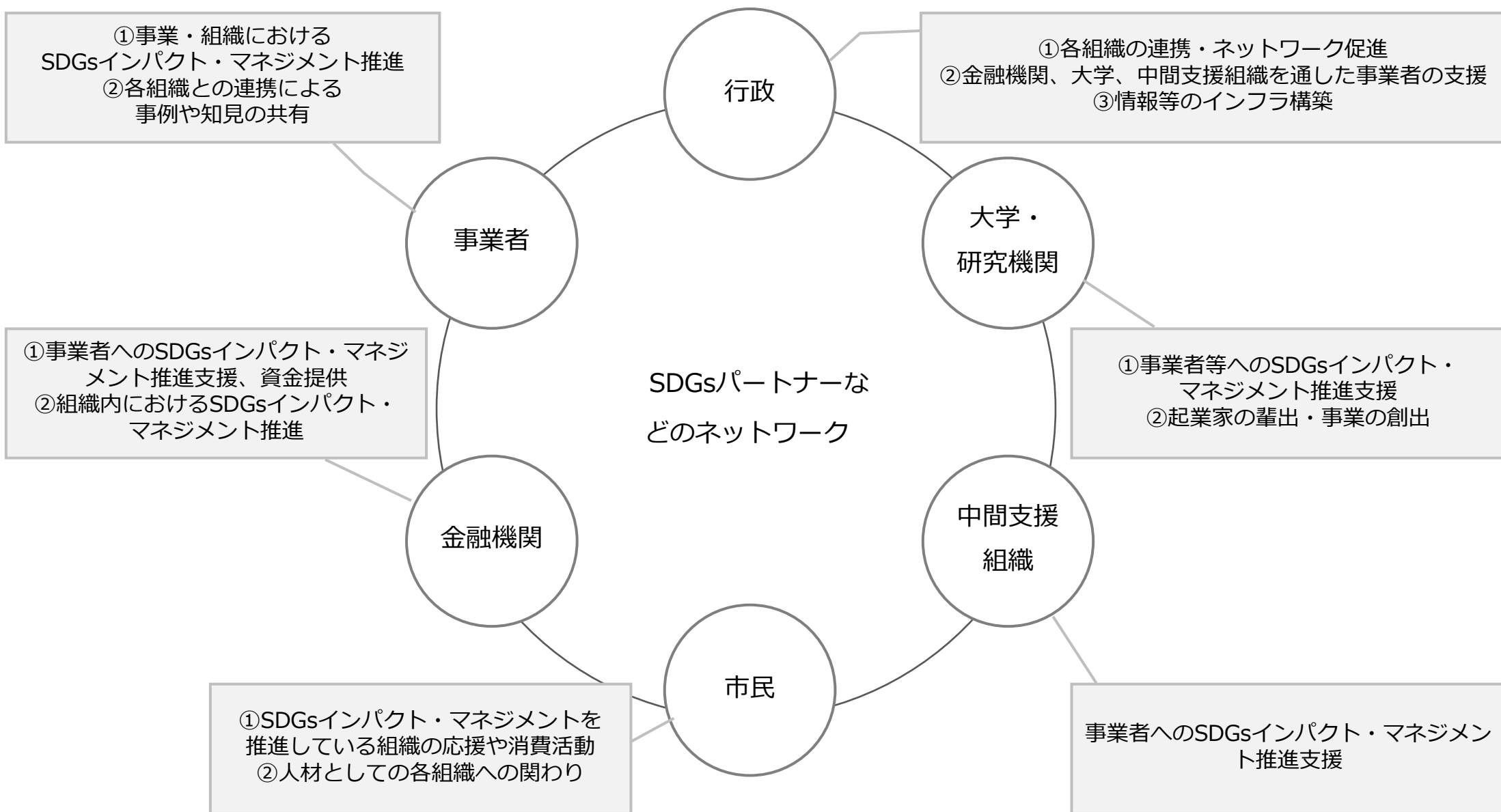
## 2 調査結果

- アンケート、ヒアリング調査の結果から、次年度以降の神奈川県SDGsインパクト・マネジメント推進の方向性に関して提言を作成

実施したこと／設計			結果概要
アンケート (回収数／配布数)	ヒアリング (実施数／予定数)		
事業者	15社 ／ 21社	4社 ／ 4社	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートはコロナや退職等の影響で7割の回収数</li> <li>事業改善への活用例や、他事業での活用例など面への広がりがあるが、金融との接続には至っていない</li> </ul>
金融機関	9社 ／ 11社	4社 ／ 4社	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートは8割の回収数</li> <li>行政によるSDGs推進は地域金融機関にとっては有効。より簡潔な仕組み・参画しやすい施策が求められている</li> </ul>
行政	—	7自治体 ／ 7自治体	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県含む7自治体のSDGs推進状況を把握</li> <li>各行政特色はあるが、地方創生SDGs金融の流れを含め、金融機関を通じた中小企業の支援を重要視</li> </ul>
成果物	事業者、金融機関、行政に向けたSDGsインパクト・マネジメント実施のヒント集・提言集を作成		

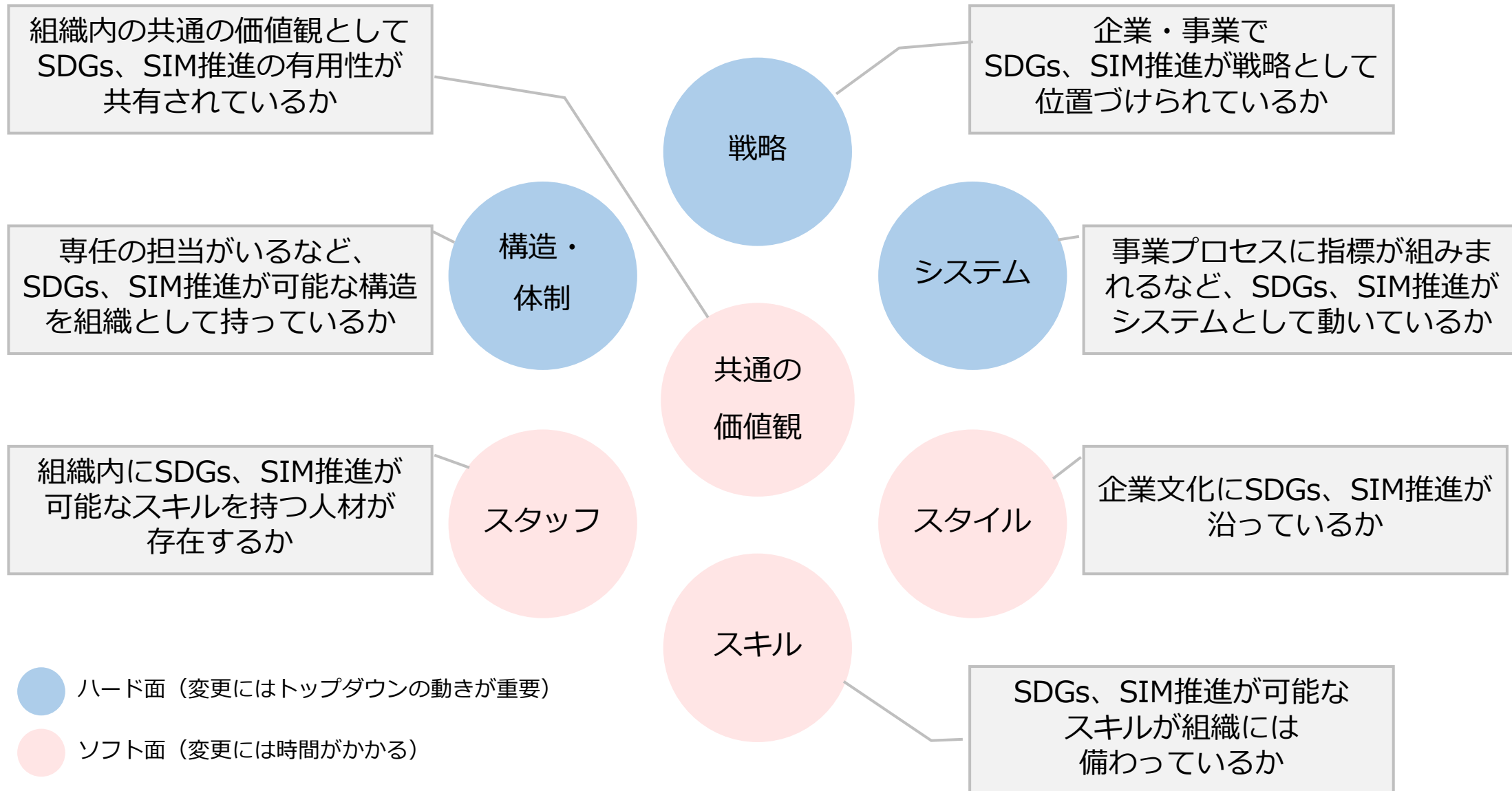
## 2 エコシステムに形成に向けて、各関係者に求められる役割

- 調査結果より、SDGsインパクト・マネジメント推進に関わる主な関係者は改めて、行政、金融機関、事業者、大学・研究機関、市民、中間支援組織と整理



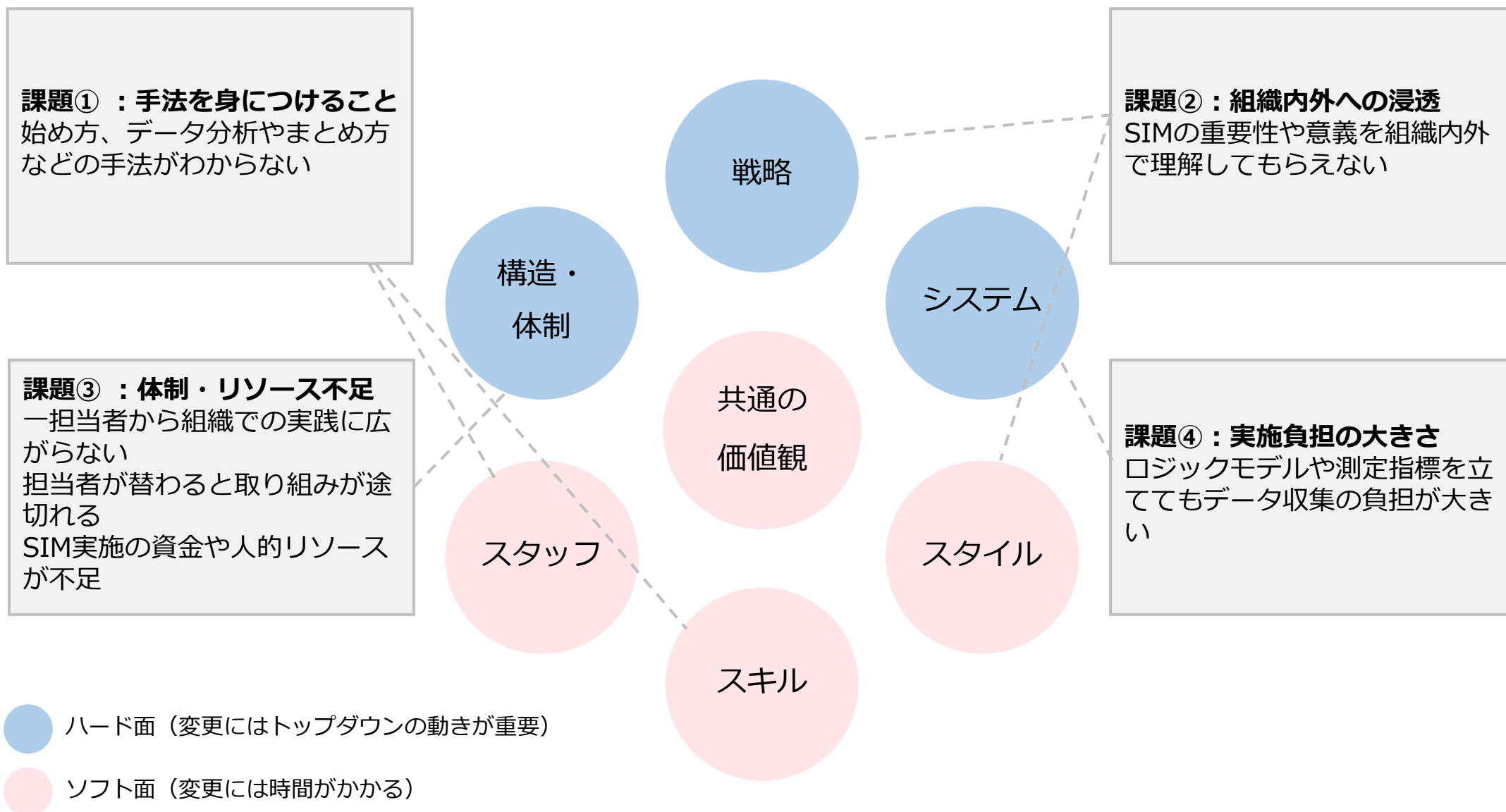
## 2 SDGsインパクト・マネジメント推進における組織の重要な要素（事業者・金融機関・行政共通）

- いずれの組織でもSDGs、SIM推進には組織のハード面（戦略、体制、システム）およびソフト面（価値観、スタッフ、スタイル、スキル）で重要な点が挙げられた



## 2-1 事業者のSDGsインパクト・マネジメント推進における課題

- 事業者における課題として挙げられたのは、①手法を身につけること、②実施意義の組織内外への浸透、③リソース不足、④実施の負担が大きいことである



# 事業者のSDGsインパクト・マネジメント推進における課題と考えられる取り組み

- SDGsインパクト・マネジメント推進、実施を継続するために考えられる取り組みは、すぐに取り組めるものと時間がかかるものがあるが、いずれも重要

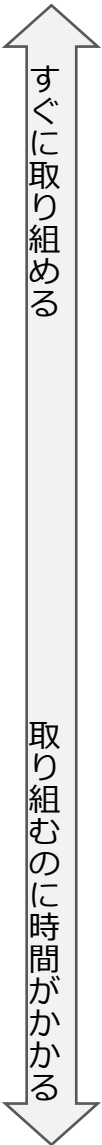
対応する課題

取り組み

課題①：手法を身につけること 課題②：組織内外への浸透

課題③：体制・リソース不足

課題④：実施負担の大きさ



<p>学ぶ</p>	<p>1. 勉強会の実施、事例等を活用したスキル向上 2. 他組織等のリソースの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資金提供者からの後押しを活用する</li> <li>大学機関や中間支援組織の知見、リソースを活用</li> <li>国連や行政からの啓発、消費者意識調査等活用</li> </ul>	
<p>(伴走による) 試行実施</p>	<p>3. 伴走支援者を探し活用 4. アウトカムの明確化や指標整理等部分的に開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状あるデータを活用</li> </ul>	<p>5. 経営層や組織内メンバーへの共有、賛同獲得</p>
<p>社内体制・システム構築</p>		<p>6. 実施後の報告・共有を社内外に向け実施 7. 経営層における優先度の向上</p>
<p>継続実施</p>		<p>11. SDGsインパクト・マネジメントの取り組みを企業の文化・強みに</p>
		<p>8. データ管理システム導入 9. 事業プロセスへ組み込み 10. 専任者や担当部署の設置</p> <p>12. (他組織等のリソース活用)</p>

## 2-1 事業者のSDGsインパクト・マネジメント推進における取り組みと具体事例

- すぐに取り組みやすく、具体的に実践できることとしては、勉強会の開催や、経営層への説明、他組織のリソース活用などがあげられる

具体的な取り組みや事例

対応する課題

課題①…手法を身につけること

課題②…組織内外への浸透

課題②

学ぶ	1	勉強会の実施、事例等を活用したスキル向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取り組んだことのない事業者も、まずはSDGsやSIMに関する勉強会や講義を受けることで、理解を深められる</li> <li>• 学習支援に取り組むNPO法人では、一事業に関わる一担当者からSIMの取り組みが始まったが、伴走支援を受けて実施を開始し、代表の理解を得て<b>組織の中で勉強会を重ねることで、他事業の担当者に理解が広がり、SIMに取り組むものが増えた</b></li> </ul>
	2	他組織等のリソースの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事例やリンク等もまとまっている一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）のウェブページや、国際的イニシアチブのImpact Management Project、SDGs Impact、GIIN等のサイトが参考になる</li> <li>• 行政や金融機関への提言は数多く出ている。参考にできるのは、金融庁の「金融行政とSDGs」、内閣府実施の「地方創生SDGs・ESG金融調査・研究会」、経済産業省における「SDGs経営ガイド」、環境省の「持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」などがある</li> <li>• 日本経済団体連合会（経団連）では「Society5.0 for SDGs」を柱として企業行動憲章を改定している</li> </ul>
（伴走による） 試行実施	3	伴走支援者を探し活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 開始当初は伴走支援を入れて始めると学びが多い。客観的な視点等、第三者のサポートがあるからこそ得られることもある（K2インターナショナルグループ）。専門の中間支援組織や研修を頼ることも一つの手段である</li> <li>• 資金提供者がSDGs金融を推進する動きはあり、三井住友銀行や滋賀銀行の事例があげられる。かながわSDGsパートナーでも複数の金融機関の登録があり、具体的な取り組みを実施しているところを探し、協働の検討もできる</li> </ul>
	4	アウトカムの明確化や指標整理等部分的に開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アルケア株式会社では、<b>元々取得していたデータを整理して、SIMの実践を始めた</b></li> <li>• K2インターナショナルグループでは、<b>指標設定や分析の前野段階のロジックモデル作成の部分から、既に事業改善への学びを得ることができた</b></li> </ul>
	5	経営層や組織内メンバーへの共有、賛同獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 株式会社インターネットインフィニティーでは、<b>経営層がSIMの実践メンバーに加わっており、経営層、経営企画部・事業部、現場の共通認識の醸成をスムーズにしている</b></li> <li>• 経営層がSIMの実践に関わるのが難しい場合であっても、<b>研修や報告会のような形で、実施意義や成果を経営層に共有することから始めることができる</b></li> </ul>

## 2-1 事業者のSDGsインパクト・マネジメント推進における取り組みと具体事例

- やや時間がかかるが、中長期的に具体的に実践できることとしては、実施後の報告を行うこと、継続する体制やシステムを構築すること、文化醸成を行うことがあげられる

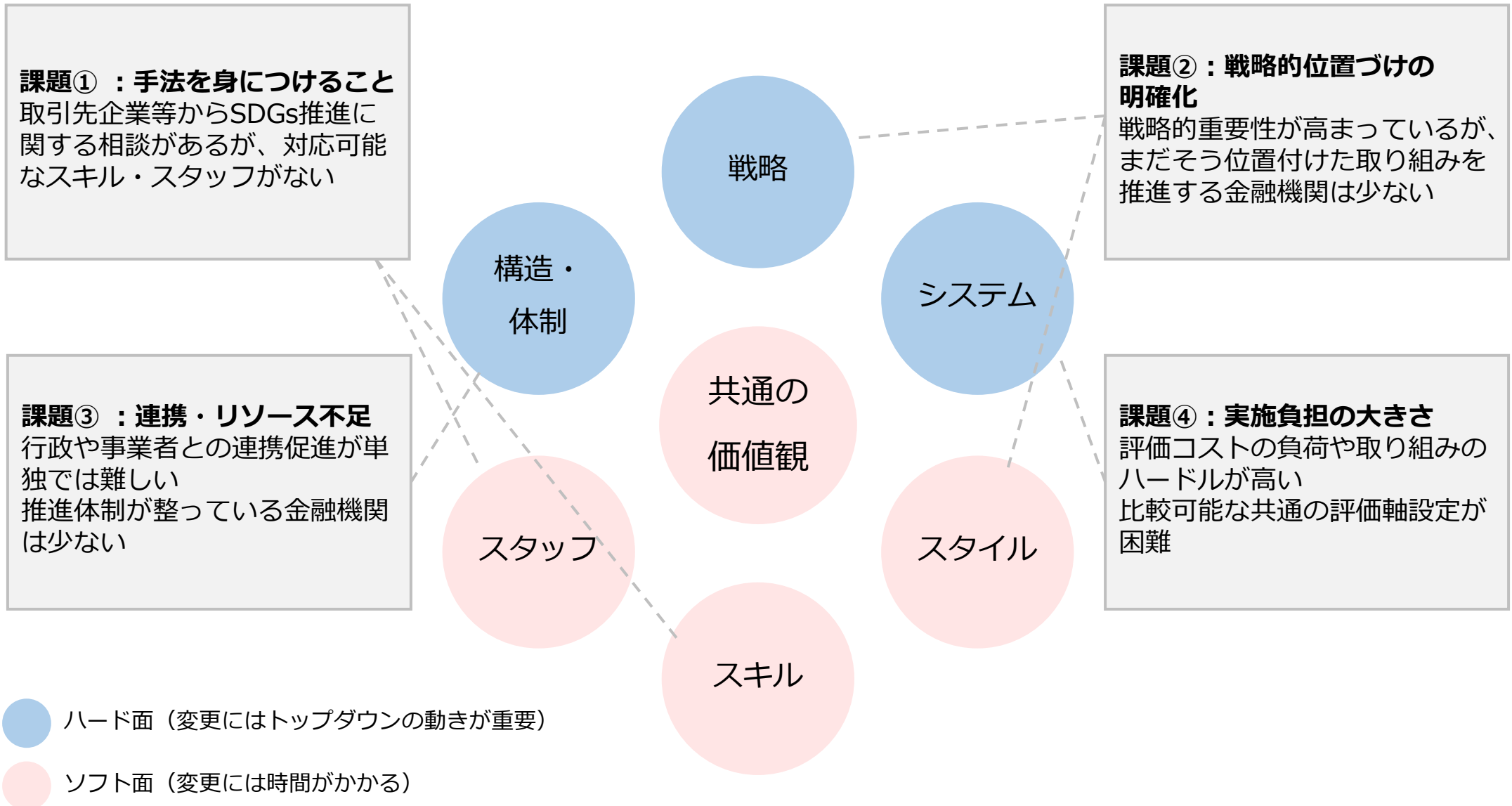
対応する  
課題

具体的な取り組みや事例

	具体的な取り組みや事例	対応する課題		
社内体制システム構築	6 実施後の報告・共有を社内外に向け実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習支援に取り組むNPO法人では、一担当者からSIMの取り組みが始まったが、伴走支援を受け実施を開始し、<b>組織の中で勉強会を重ねることで、他事業の担当者に理解が広がり、SIMに取り組むものが増えた</b></li> <li>• ある組織では、より多くの支援者・賛同者を集めることを目的の一つとして、実施後の結果について報告会を毎年開催している</li> </ul>	課題②…組織内外への浸透	
	7 経営層における優先度の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学習支援に取り組むNPO法人では、一担当者からSIMの取り組みが始まったが、伴走支援を受け実施を開始し、代表の理解を受けて助成金申請の時などにも重要なポイントとして入れ込むことが増えた</li> </ul>		
	8 データ管理システム導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>• K2インターナショナルグループでは、<b>データ管理システムを導入してデータの管理・蓄積を日常化している</b></li> <li>• アルケア株式会社では、<b>元々取得していたデータを整理して、SIMの実践を始めた</b></li> </ul>		課題③…体制・リソース不足、課題④…実施負担の大きさ
	9 事業プロセスへ組み込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 株式会社インターネットインフィニティーでは、<b>事業プロセスの中でデータを収集できるよう事業プログラムの構成を組み替える</b>などの工夫を行っている</li> <li>• 学習支援に取り組むNPO法人では、子どもたちが扱うタブレットの中に定期的に取得するアンケートを格納し、子どもたちが自ら授業後等に回答できるように仕組みを整えた</li> </ul>		
	10 専任者や担当部署の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 株式会社TBMでは<b>サステナビリティ専任者を二名配置し、環境データの集約や環境負荷の計算といったSIM実施に係る業務を行うと同時に、社内の巻き込みや実施意義の共有の役割も果たしている</b></li> </ul>		
継続実施	11 SDGsインパクト・マネジメントの取り組みを企業の文化・強みに	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 株式会社TBMでは、企業理念「過去を活かして未来を創る。100年後でも持続可能な循環型イノベーション。」を掲げ、製品による環境課題解決への貢献を具体的なデータを開示することで示している</li> </ul>	課題②	
	12 (他組織等のリソース活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• K2インターナショナルグループでは、2015年度の社会的インパクト評価の実施から、継続して専門家や中間支援組織と共に評価に取り組んでいる。第三者機関を入れることによる組織強化と、評価に客観的な視点を持たせるメリットがある</li> </ul>	課題③、④	

## 2-2 金融機関のSDGsインパクト・マネジメント推進における課題

- 金融機関における課題として挙げられたのは、①手法を身につけること、②戦略的位置づけの明確化、③連携・リソース不足、④実施の負担が大きいことである



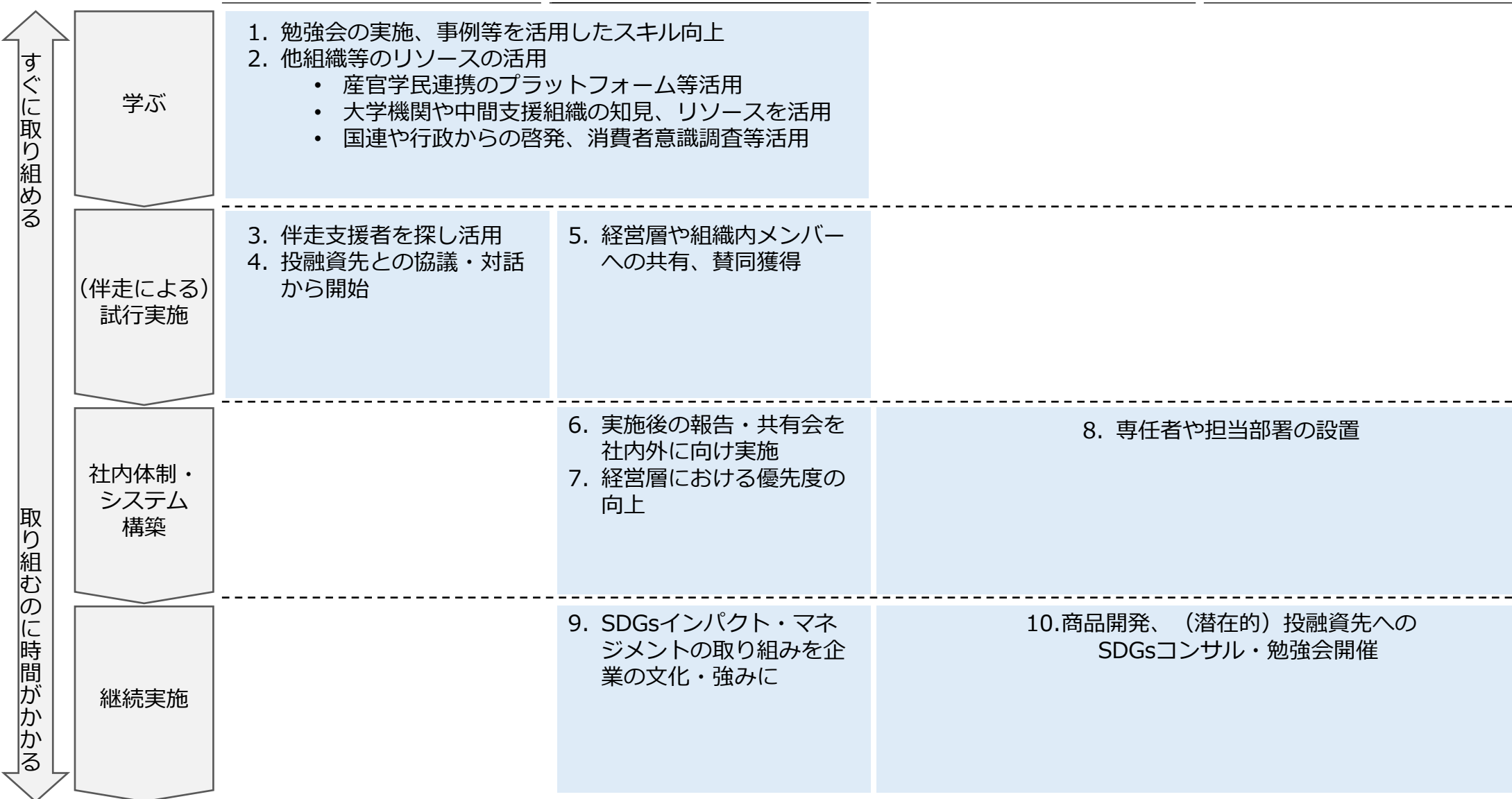


- SDGsインパクト・マネジメント推進、実施を継続するために考えられる取り組みは、すぐに取り組み始めるものと時間がかかるものがあるが、いずれも重要

対応する課題

取り組み

課題①：手法を身につけること    課題②：戦略的位置づけ明確化    課題③：連携・リソース不足    課題④：実施負担の大きさ



## 2-2 金融機関のSDGsインパクト・マネジメント推進における取り組みと具体事例

- すぐに取り組みやすく、具体的に実践できることとしては、勉強会の開催や、経営層への説明、他組織のリソース活用などがあげられる

具体的な取り組みや事例

対応する課題

課題①…手法を身につけること

課題②…戦略的位置づけの明確化

課題②

学ぶ	1	勉強会の実施、事例等を活用したスキル向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 神奈川県事業においても、取り組んだことのない地域金融機関やVCが、SDGsやSIMに関する勉強会や講義を受けることから始めている</li> <li>• あるVCではSDGsやSIMに関する講習を受けたのち、実際にソーシャルスタートアップに特化した投資を行い始めている</li> </ul>
	2	他組織等のリソースの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事例やリンク等もまとまっている一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）、国際的イニシアチブのImpact Management Project（IMP）やSDGs Impact、GIIN等のサイトが参考になる</li> <li>• 金融庁の「金融行政とSDGs」、内閣府実施の「地方創生SDGs・ESG金融調査・研究会」、経済産業省における「SDGs経営ガイド」、環境省の「持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」などは参考になる</li> <li>• 日本経済団体連合会（経団連）では「Society5.0 for SDGs」を柱として企業行動憲章を改定している</li> <li>• 社会的価値志向型の企業が増え、出会いの場を設ければ非上場中心に潜在的投資先の発掘につながる可能性がある</li> </ul>
（伴走による） 試行実施	3	伴走支援者を探し活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SDGsパートナーなどの中からSIMやSDGsに関する取組を伴走支援する組織を探す</li> <li>• 北九州市では産学官民の連携を促すプラットフォームである「北九州SDGsクラブ」を創設し、金融機関19社と協定締結をしている。地域企業のSDGs経営を支援するため、同クラブでワンストップで企業からの相談を受け、金融機関が自社の支援メニューで企業をサポートする仕組みを構築している。</li> </ul>
	4	投融資先との協議・対話から開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SDGsやインパクトを投融資に紐づけている金融機関も、できるところから始めている。例えばインパクト投資を行う一般財団法人KIBOWでは、既存のガイドラインを参考にしながら個別の会社に合った形で評価を行っている</li> <li>• 行政目標とSDGsを紐づけている自治体が増えてきており、金融機関も地域課題に連動して経営支援や投融資を行うことがSDGs推進の第一歩となりえる</li> </ul>
	5	経営層や組織内メンバーへの共有、賛同獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 経営層がSIMの実践に関わるのが難しい場合であっても、<b>研修や報告会のような形で、実施意義や成果を経営層に共有することから始めることができる</b></li> </ul>

## 2-2 金融機関のSDGsインパクト・マネジメント推進における取り組みと具体事例

- やや時間がかかるが、中長期的に具体的に実践できることとしては、実施後の報告を行うこと、継続する体制やシステムを構築すること、文化醸成を行うことがあげられる

対応する  
課題

### 具体的な取り組みや事例

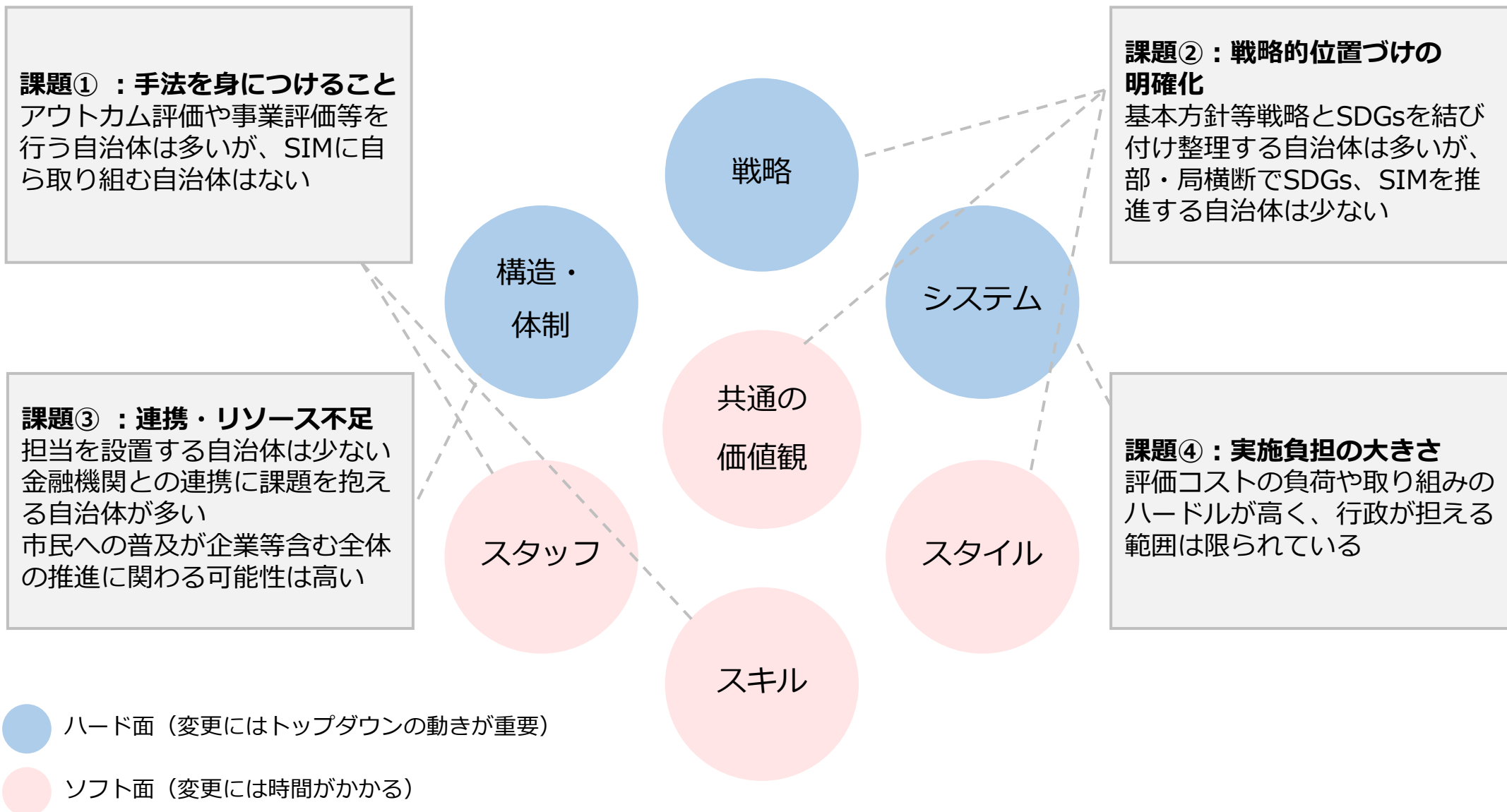
	具体的な取り組みや事例	対応する課題	
社内体制システム構築	6 実施後の報告・共有を社内外に向け実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国際的にインパクト投資を推進するIMPでは、各資金提供者の発行するインパクトレポートの事例を掲載している</li> <li>• 新生企業投資株式会社のインパクト投資チームでは、国内の金融機関初のインパクト投資を行う「子育て支援ファンド」への取り組みが評価され日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」を受賞している</li> </ul>	課題② …戦略的位置づけの明確化
	7 経営層における優先度の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 滋賀銀行では、1990年代から頭取のトップダウンをきっかけに環境金融を進めてきた。経営陣が繰り返し情報発信を続けたことで社内の理解も進んできた</li> <li>• 地域金融機関に限らず、組織として取り組むためには経営陣による推進が必要である</li> </ul>	
	8 専任者や担当部署の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あるVCではSDGs、社会貢献に関するチームを立ち上げ、専任でソーシャルスタートアップに特化したキャピタリストを設置している</li> <li>• 新生企業投資ではインパクト投資チームを立ち上げ、実際にインパクト投資ファンドを立ち上げ、運用している</li> </ul>	
継続実施	9 SDGsインパクト・マネジメントの取り組みを企業の文化・強みに	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 滋賀銀行では、20年以上環境金融に取り組んできた歴史があり、取引先企業からSDGs推進に関する相談があったことから、SDGsコンサルを行っている</li> <li>• 地域での取り組みを進めるにあたり、地域金融機関のミッションとして明確に、社会的インパクトやSDGsの取り組みをとおした地域の活性化を言語化することが組織戦略としても重要</li> </ul>	課題②
	10 商品開発、(潜在的)投融資先へのSDGsコンサル・勉強会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 滋賀銀行では、新規事業がSDGsのゴールに紐づいているかチェックできれば金利を下げるという融資プランや、SDGsに関連して設定した事業目標の達成度に連動させて金利を下げる融資プランなどを持ち、SDGsの取り組みレベルに合わせた金融商品を開発している</li> <li>• また、SDGsコンサルでは目的設定の支援や、従業員を交えた勉強会や意見交換会で事業の存在意義を明らかにすることを行っている。事業とSDGsのゴールとの紐づけを行い、目指すべきマテリアリティを整理し、経営計画やKPIとして具体的な数値として設置している</li> </ul>	

課題③  
…連携・リソース不足  
課題④  
…実施負担の大きさ

課題③  
課題④

## 2-3 行政のSDGsインパクト・マネジメント推進における課題

- 行政のエコシステム形成における課題として挙げられたのは、①手法を身につけること、②戦略的位置づけの明確化、③リソース不足、④実施の負担が大きいことである



## 2-3 行政のSDGsインパクト・マネジメント推進における課題と考えられる取り組み

- SDGsインパクト・マネジメント推進、実施を継続するために考えられる取り組みは、すぐに取り組めるものと時間がかかるものがあるが、いずれも重要

対応する課題

取り組み

課題①：手法を身につけること 課題②：戦略的位置づけ明確化 課題③：連携・リソース不足 課題④：実施負担の大きさ

	学ぶ	1. 庁内職員への普及啓発 2. 他組織等のリソースの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>産官学民連携のプラットフォーム等活用</li> <li>大学機関や中間支援組織の知見、リソースを活用</li> <li>国連や中央省庁からの啓発、消費者意識調査等活用</li> </ul>		
	(伴走による) 試行実施	3. 伴走支援者を探し活用 4. 既存のアウトカムや指標を活用する	5. 基本方針等とSDGs、指標を結び付け整理	
	庁内体制・システム構築		6. 部・局横断で施策にSDGs、SIMを結び付ける	7. 市民への啓発強化 8. 自らが伴走支援を実施 9. 専任者や担当部署の設置 10. 各関係者をつなぐマッチングを推進
	継続実施		11. 施策レベルでの測定、改善を継続	12. 関係者のアウトカム評価のコストを負担

## 2-3 行政のSDGsインパクト・マネジメント推進における取り組みと具体事例

- すぐに取り組みやすく、具体的に実践できることとしては、勉強会の開催や、経営層への説明、他組織のリソース活用などがあげられる

具体的な取り組みや事例

対応する  
課題

課題①…手法を身につけること

課題②…戦略的位置づけの明確化

課題②

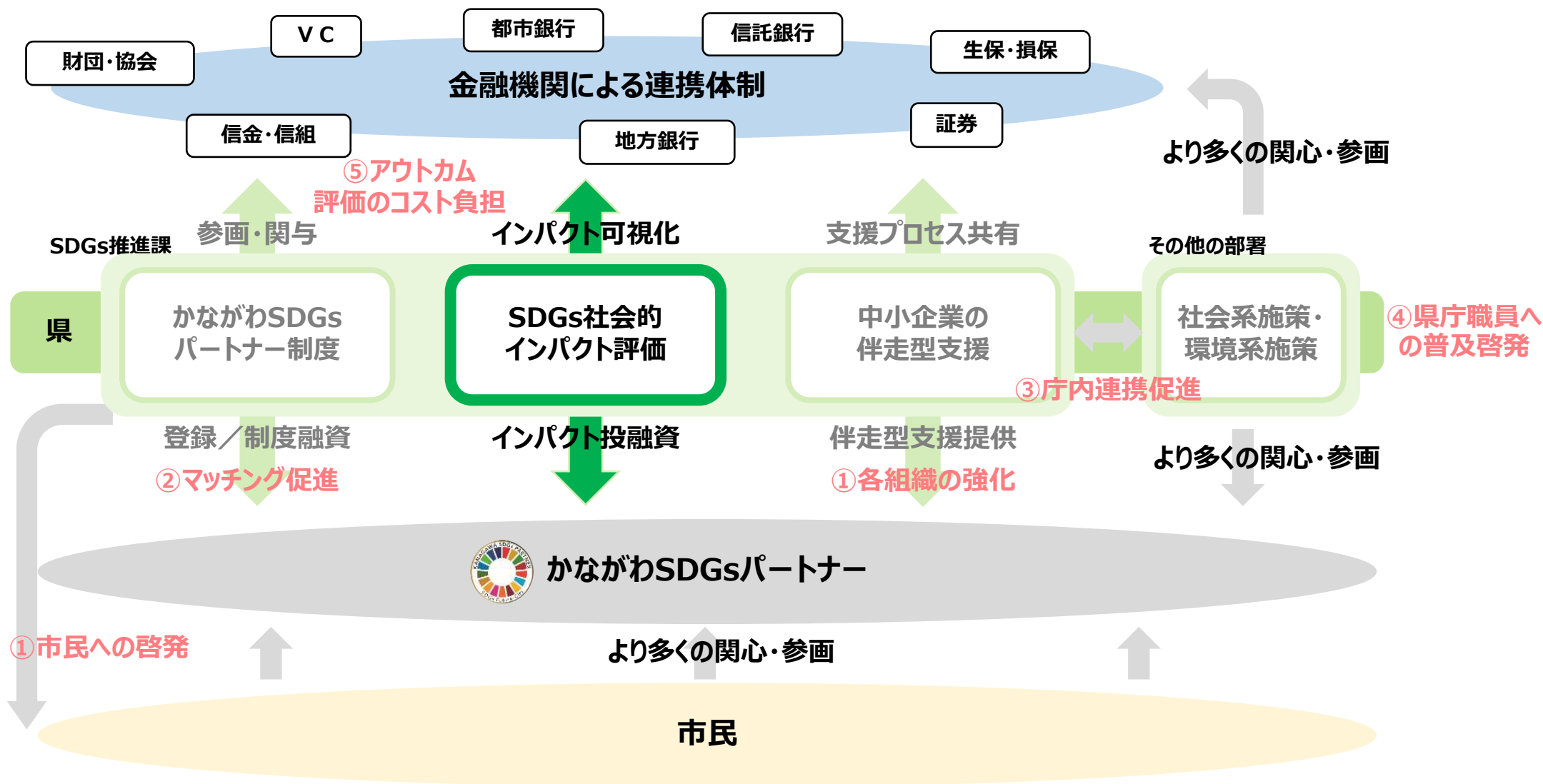
学ぶ	1	庁内職員への普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SDGs推進課だけでなく、庁内横断で職員がSDGsの知識、活用方法を身につける仕組みを作る</li> <li>• 沖縄県では知事発案のSDGsマスターズという仕組みがある。職員の中でSDGsに関心ある人たちが集まり、勉強会を行う形式で、内部から理解を深めることを意図している</li> </ul>
	2	他組織等のリソースの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事例やリンク等もまとまっている一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）のウェブページ、国際的イニシアチブのImpact Management Projectや、SDGs Impact、GIIN等のサイトが参考になる</li> <li>• 金融庁の「金融行政とSDGs」、内閣府実施の「地方創生SDGs・ESG金融調査・研究会」、経済産業省における「SDGs経営ガイド」、環境省の「持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」などは参考になる</li> <li>• 日本経済団体連合会（経団連）では「Society5.0 for SDGs」を柱として企業行動憲章を改定している</li> <li>• 内閣府のSDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業の取り組みも参考になる</li> </ul>
（伴走による） 試行実施	3	伴走支援者を探し活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• —</li> </ul>
	4	既存のアウトカムや指標を活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 県の施策で設定しているアウトカムや指標をSDGsをまず活用しながら実施する</li> <li>• 神奈川県におけるヘルスケア事業では未病指標、女性活躍推進事業では地域女性活躍推進交付金事業にある「25～44歳の女性の就業率」などの活用可能性が考えられる</li> </ul>
	5	基本方針等とSDGs、指標を結び付け整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 多くのSDGs未来都市の場合、基本方針とSDGsの紐づけが行われているが、加えてトップダウンの指標があることが望ましい。その後の施策等に紐づけていくことが可能となる</li> </ul>

## 2-3 行政のSDGsインパクト・マネジメント推進における取り組みと具体事例

- やや時間がかかるが、中長期的に具体的に実践できることとしては、実施後の報告を行うこと、継続する体制やシステムを構築すること、文化醸成を行うことがあげられる

		具体的な取り組みや事例	対応する課題
庁内体制システム構築	6 部・局横断で施策にSDGs、SIMを結び付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 庁内他部署での施策・事業でSDGs関連付けの可能性があるもの（太陽光発電設備の共同購入事業、スマートエネルギー計画等）でつながりのある組織へSDGsインパクト・マネジメントの枠組み（ガイド提供等）、SDGsパートナーへの参画を促す</li> <li>• 神奈川県太陽光発電設備協働購入や、長野県環境配慮型住宅助成金などは関係者からの関心も高く、取り組みが始めやすいところだと考えられる</li> </ul>	課題②…戦略的化 課題③…連携・リソース不足、 課題④…実施負担の大きさ
	7 市民への啓発強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 北九州市、つくば市ではSDGsパートナーの個人参加があり、企業としてだけでなく、市民としても登録している人がいる。市民としてパートナー参画が増えれば、企業内での意識向上や、市民・消費者としての活動が向上する</li> <li>• 大阪府は大阪市をはじめ府内の基礎自治体や経済団体とも連携してSDGsの普及啓発に努めている。神奈川県でもつながりポイント等の事業含め、基礎自治体との結びつきを強化することが考えられる</li> </ul>	
	8 自らが伴走支援を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 金融機関への伴走支援等、知識やスキルを習得した庁内職員が他の関係者への伴走支援を自ら実行することは知見移管、普及のためにも有効である</li> </ul>	
	9 専任者や担当部署の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SDGs推進に特化した担当部署の設置が望ましいが、リソースが限られる場合には庁内職員それぞれが知見やスキルを有していることで代替する（具体的な取り組みや「1, 庁内職員への普及啓発」の事例を参照）</li> </ul>	
	10 各関係者をつなぐマッチングを推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SDGsパートナー等を活用し、企業—企業や企業—金融機関のマッチングを促進する</li> <li>• 北九州市では、北九州SDGsクラブ内で民間主体で複数組織が連携し社会課題解決するプロジェクトチーム立ち上げを推進し、成功モデルの創出を図ることとしている。金融機関19社と市が協定締結し、地域企業のSDGs経営を推進するため様々な支援を行うSDGs経営サポートを開始（中小企業がエントリーシートを記入、金融機関を選択、市がつなぎ役を行う）</li> </ul>	
継続実施	11 施策レベルでの測定、改善を継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本方針等から結びついたSDGsおよび測定指標を運用し、施策のSIMに役立てる。この際も、具体的な取り組みや「4, 既存のアウトカムや指標を活用する」の事例における既存アウトカムや指標の活用が有効となる</li> </ul>	課題②
	12 関係者のアウトカム評価のコストを負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 県の施策で設定しているアウトカムや指標をSDGsで整理して公開し、他の組織がSDGs推進事業等に活用できるようにする</li> <li>• 評価支援を大学等他組織と連携して実施する。</li> </ul>	課題③、 課題④

- ①各組織の人材育成・組織強化（市民への啓発含む）、②SDGsパートナー内などにおける自発性の高いマッチング促進、③庁内の他施策とのSDGs連携、④県庁職員の普及啓発が挙げられた





## 参考 参考リンク

- 金融庁「金融行政とSDGs」  
<https://www.fsa.go.jp/policy/sdgs/FSAStrategyforSDGs.html>
- 首相官邸「地方創生SDGs・ESG金融調査・研究会」  
[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/sdgs\\_kinyu.html](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/sdgs_kinyu.html)
- 経済産業省「SDGs経営ガイド」  
<https://www.meti.go.jp/press/2019/05/20190531003/20190531003.html>
- 環境省「持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド」  
<https://www.env.go.jp/policy/sdgs/index.html>
- 日本経済団体連合会（経団連）では「Society5.0 for SDGs」  
<https://www.keidanrensdgs.com/society5-0forsdgs-jp>
- 日本銀行「SDGs/ESG金融に関する金融機関の取り組み」  
[https://www.boj.or.jp/finsys/c\\_aft/data/aft200205a1.pdf](https://www.boj.or.jp/finsys/c_aft/data/aft200205a1.pdf)
- かながわSDGsパートナー  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/sdgs/partner.html>
- 一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）  
<https://simi.or.jp/>
- Impact Management Project  
<https://impactmanagementproject.com/>
- SDGs Impact  
<https://sdgimpact.undp.org/>

# 參考資料

## 参考 (1) 調査対象者 ～事業者～

- 2018年度・2019年度実証事業、2019年度研修参加者の全21社にアンケートを実施
- 上記参加者の内、特に実践の継続が見込まれる組織にヒアリングを実施

	組織名	過年度事業参加	候補理由	調査方法	
				アンケート	ヒアリング
1	MS&ADインターリスク総研株式会社	あり	2019年度研修参加者	○	—
2	コニカミノルタ株式会社	あり	2019年度研修参加者	○	—
3	スリール株式会社	あり	2019年度研修参加者	○	—
4	一般社団法人オープンデータラボ	あり	2019年度研修参加者	○	—
5	一般社団法人ファストエイド	あり	2019年度研修参加者	○	—
6	一般社団法人日本経営士会南関東支部 神奈川経営支援センター	あり	2019年度研修参加者	○	—
7	横浜市資源リサイクル事業協同組合	あり	2019年度研修参加者	○	—
8	株式会社TBM	あり	2019年度研修参加者	○	—
9	株式会社リビエラ	あり	2019年度研修参加者	○	—
10	株式会社横浜フリースポーツクラブ	あり	2019年度研修参加者	○	—
11	向洋電機土木株式会社	あり	2019年度研修参加者	○	—
12	国際航業株式会社	あり	2019年度研修参加者	○	—
13	湘南電力株式会社	あり	2019年度研修参加者	○	—
14	石井造園株式会社	あり	2019年度研修参加者	○	—
15	認定NPO法人 Teach For Japan	あり	2019年度研修参加者	○	—
16	文部科学省	あり	2019年度研修参加者	○	—
17	株式会社リエゾンワークス	あり	2019年度実証事業	○	—
18	Fujusawa SST (パナソニック株式会社を窓口とする)	あり	2018年度実証事業、 2019年度実証事業、2019年度委員	○	—
19	株式会社インターネットインフィニティ	あり	2019年度実証事業	○	○
20	株式会社K2インターナショナルジャパン	あり	2018年度実証事業、2019年度ヒアリング対象	○	○
21	アルケア株式会社	あり	2018年度実証事業	○	○

## 参考 (1) 調査対象者 ～金融機関～

- 2019年度研修参加者の全11社にアンケートを実施
- 実際にインパクト投資等を実施・推進している4組織にヒアリングを実施

	組織名	過年度 事業参加	候補理由	調査方法	
				アンケート	ヒアリング
1	かながわ信用金庫	あり	2019年度研修参加者	○	—
2	株式会社みずほ銀行	あり	2019年度研修参加者	○	—
3	株式会社日本政策投資銀行	あり	2019年度研修参加者	○	—
4	日本ベンチャーキャピタル株式会社	あり	2019年度研修参加者	○	—
5	ARUN合同会社	あり	2019年度研修参加者	○	—
6	株式会社ローソン銀行	あり	2019年度研修参加者	○	—
7	公益財団法人日本財団	あり	2019年度研修参加者	○	—
8	公益財団法人笹川平和財団	あり	2019年度研修参加者	○	—
9	株式会社横浜銀行	あり	2019年度研修参加者、2019年度委員	○	—
10	株式会社三井住友銀行	あり	2019年度ヒアリング対象	○	—
11	新生企業投資株式会社	あり	2019年度委員	○	○
A	一般財団法人KIBOW	なし	インパクト投資家としての実績有	—	○
B	株式会社滋賀銀行	なし	SDGsやESGに関連した融資商品を保有	—	○
C	年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)	なし	ESG投資、SDGsへの取り組み実績有	—	○
D	金融庁	なし	「金融行政とSDGs」等推進を実施	—	○

## 参考 (1) 調査対象者 ～行政～

- 未来都市選定の自治体を中心に、先進的かつ神奈川県を取り組みに親和性のある取り組みを行う自治体に、神奈川県モデル・事例に関するヒアリングを実施

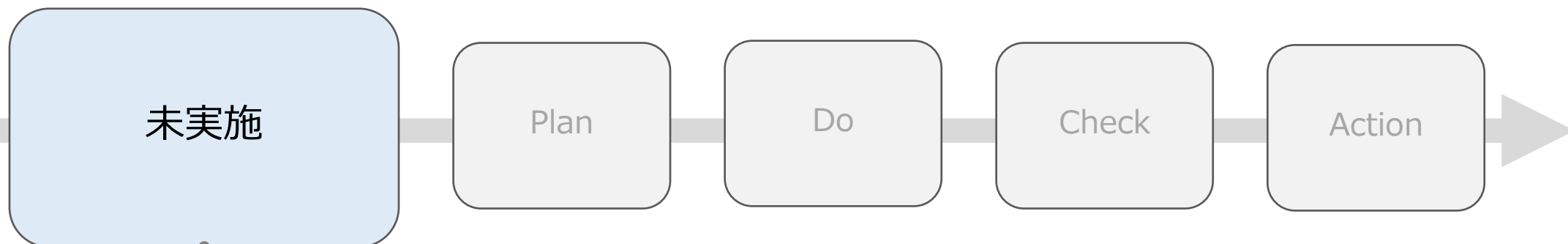
	自治体名	候補理由	調査方法	
			アンケート	ヒアリング
1	茨城県つくば市	2018年度未来都市 SDGs未来都市進捗の実施等、評価への関心が高い	—	○
2	神奈川県鎌倉市	2018年度未来都市 持続可能な都市経営「SDGs未来都市かまくらの創造」	—	○
3	福岡県北九州市	2018年度未来都市 北九州市SDGs未来都市	—	○
4	滋賀県	2019年度未来都市 世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現	—	○
5	大阪府	2020年度未来都市における都道府県＋市町村の協働提案モデル	—	○
6	沖縄県	おきなわSDGsパートナー等、SDGsに関する取組を推進	—	○
7	神奈川県	2018年度未来都市 SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業	—	○

参考 (2) アンケート調査結果 ～SIMの実施状況について (Q1-2, 2-2, 4-9) ～

- SIMの実施状況と今後の実施予定に関するアンケート調査集計結果は以下のとおり。

			事業者		金融機関		合計	
アンケート配布数			21社		11社		32社	
アンケート回答数			15社		9社		24社	
社会的インパクト・マネジメント (または社会的インパクト評価) 実施状況	現在実施している	今後これまで以上に実施予定	4社		4社		8社	
		今後これまで通りに実施予定	4社	9社	1社	6社	5社	15社
		今後は実施の予定はない	1社		1社		2社	
	現在実施していない	今後実施に向けて検討中	5社		2社		7社	
				6社		3社		9社
		今後は実施の予定はない	1社		1社		2社	

## 9社/24社 (事業者6社、金融機関3社)



### <課題>

- SIM実施に充てる**リソース (資金、時間、労力)**が不足している
- **SIM実施の意義や目的が組織内で共有されていない**

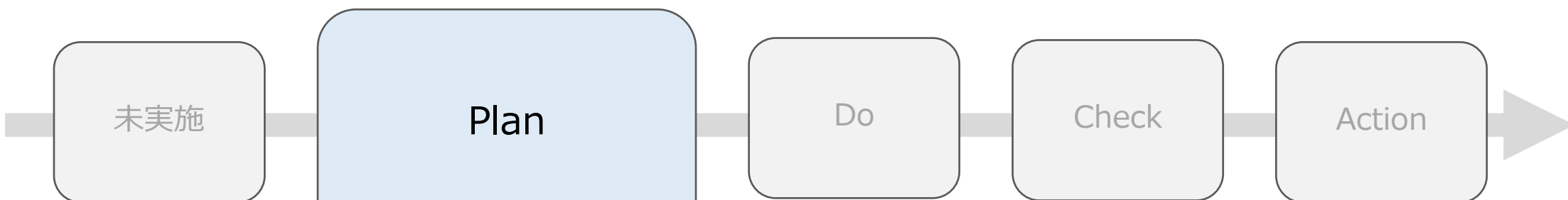
### <実施を検討している理由>

- 組織メンバーの事業目的や成果に対する理解を促進し、士気を向上させるため
- 事業目的と事業のロジックを組み立てて、事業内容や運営方法の改善に利用するため

### <考えられる対策>

- リソースの自治体からの支援、金融機関、大学機関等とのマッチングによる支援
- SIM実施の意義や目的の普及啓発、金融機関によるインセンティブ設計

## 15社/24社 (事業者9社、金融機関6社)



### <課題>

- 作成したロジックモデルを**組織内の共通認識・言語にできていない**
- 十分なデータの収集ができていない
- **指標データの蓋然性確認にコストがかかる**

### <うまくいっている点>

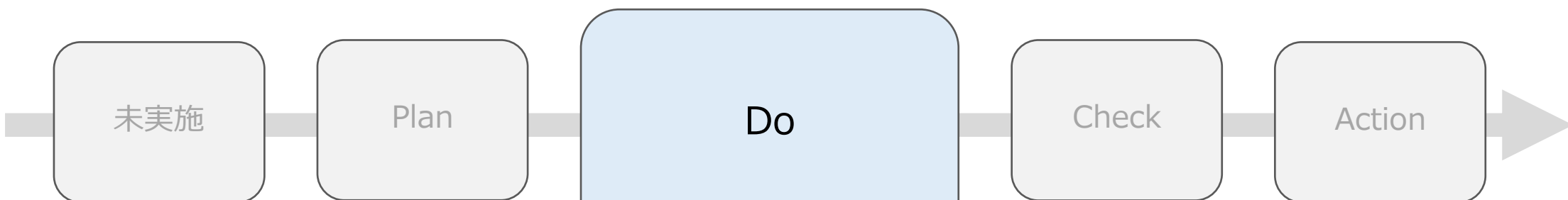
- 目的の明確化、対象事業の確認、社会課題の分析の実施
- 経営陣がSIMの実施に意欲的である
- 組織内でSIMの意義が共有されている

### <考えられる対策>

- 優良事例の (分野・対象ごと) 積極的公開
- 自治体施策アウトカム・指標の公開、データインフラ構築



## 7社/24社 (事業者6社、金融機関1社)



### <課題>

- **定量化しやすい指標とそうでない指標があり、データ収集状況に差がある**
- データ収集と分析の**基礎知識などのスキルやリソースが足りていない**

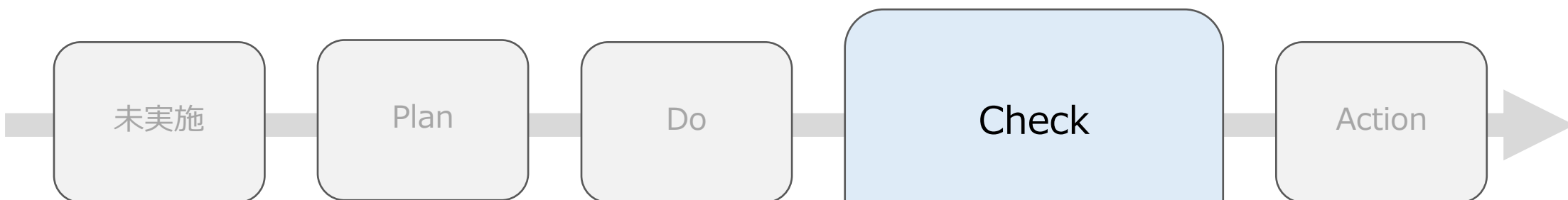
### <うまくいっている点>

- 実際の事業において、データの収集を行っている
- 経営陣はSIMの実施に意欲的である

### <考えられる対策>

- リソースの自治体からの支援、金融機関、大学機関等とのマッチングによる支援
- 優良事例の (分野・対象ごと) 積極的公開
- 自治体施策アウトカム・指標の公開、データインフラ構築

6社/24社 (事業者5社、金融機関1社)



<課題>

- 測定指標の十分な分析の不足
- 第三者から見て評価に値する分析

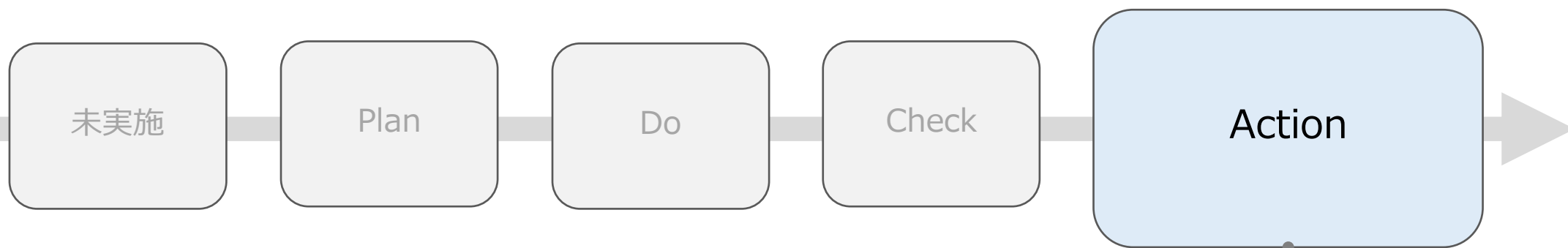
<うまくいっている点>

- データ収集等の実施体制について関係者と協力関係が構築されている
- SIM実施に充てるリソース (資金、時間、労力) が確保されている

<考えられる対策>

- リソースの自治体からの支援、金融機関、大学機関等とのマッチングによる支援
- 優良事例の (分野・対象ごと) 積極的公開
- 自治体施策アウトカム・指標の公開、データインフラ構築

6社/24社 (事業者5社、金融機関1社)



<課題>

- 分析結果に基づく、改善策の検討と実行
- 他組織の巻き込み
- 現場担当者の変更への対応

<うまくいっている点>

- 分析結果のステークホルダーへの報告
- SIM実施の意義が組織内外で共有され、活用に向けて対話ができる関係性や土壌がある
- 経営陣も従業員もSIMの実施に意欲的である

<考えられる対策>

- リソースの自治体からの支援、金融機関、大学機関等とのマッチングによる支援
- 優良事例の (分野・対象ごと) 積極的公開
- 解釈、活用における組織内におけるプロセスを明確にしたガイドの改定

## 社会的インパクト・マネジメント実施状況に関するアンケート調査

本調査は神奈川県による「令和2年度 SDGs社会的インパクト評価実証事業」の一環として、過年度事業における関係者の皆様の状況を把握し事業の成果を分析するとともに、今後に向けた提言作成等に活用するためのものです。

回答時間は10分程度となっております。ご協力よろしくお願いいたします。

9月30日までにご回答いただけますようよろしくお願いいたします。

### 【調査対象】

平成30年度、令和元年度にて本事業の実証事業または実践研修に参加いただいた組織

### 【調査目的】

- ・社会的インパクト・マネジメントの実施状況を把握し、神奈川県が進める「SDGs社会的インパクト・マネジメント×金融」活用における成果と課題を抽出すること
- ・各組織のSDGs推進にあたり「SDGs社会的インパクト・マネジメント×金融」がどのように寄与しているかを把握し、改善に役立てること

### 【用語の定義】

- ・ロジックモデル：事業のための利用可能な資源、計画している活動、達成したいと期待する変化や成果の関わりについての考えを体系的に図式化したもの
- ・社会的インパクト・マネジメント：事業運営により得られた事業の社会的な効果や価値に関する情報にもとづいた事業改善や意思決定を行い、社会的インパクトの向上を志向するマネジメントのこと

\*必須

### 1. 貴組織名 \*

\_\_\_\_\_

### 2. 現在、社会的インパクト・マネジメント（または社会的インパクト評価）を実施していますか。\*

1つだけマークしてください。

- 実施している 質問 6 にスキップします
- 一部だが実施している 質問 6 にスキップします
- 実施していない 質問 3 にスキップします

社会的インパクト・マネジメントの実施状況に関する質問

### 3. 1. 社会的インパクト・マネジメント（SIM）実施への障壁を教えてください。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- SIM実施に充てるリソース（資金、時間、労力）が不足している
- 経営陣がSIMの実施に意欲的でない
- 従業員がSIMの実施に意欲的でない
- 従業員がSIMの実施に意欲的でないSIM実施の意義や目的が組織外の関係者と共有されていない
- SIM実施の意義や目的が組織内で共有されていない

その他:  \_\_\_\_\_

### 4. 2. 今後、社会的インパクト・マネジメントを実施する予定はありますか。\*

1つだけマークしてください。

- 実施に向けて検討している
- 今のところ予定はない

### 5. 3、2で「検討している」と回答した方は、その理由として当てはまるものをすべてお選び下さい。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 組織メンバーの事業目的や成果に対する理解を促進し、士気を向上させるため
- 事業目的や成果に対する関係者（資金提供者含む）の理解を促進するため
- 事業とSDGsの関係を整理し、事業戦略の検討や経営における意思決定に利用するため
- 事業目的と事業のロジックを組み立てて、事業内容や運営方法の改善に利用するため
- 資金調達につなげるため
- 新規事業を開発するため
- 投融资判断の追加検討項目とするため
- 支援先組織のSDGs貢献を可視化するため

その他:  \_\_\_\_\_

質問 17 にスキップします

社会的インパクト・マネジメントを実施している事業の概要に関する質問

6。 1、現在、社会的インパクト・マネジメントを行っている事業の概要について、取り組む社会課題や事業目的も含め、教えてください。（金融機関の方は自社の事業、中間支援組織の方は支援先について教えてください）\*

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

7。 2、上記事業に関連するSDGsを全て選択してください。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1、貧困をなくそう
- 2、飢餓をゼロに
- 3、すべての人に健康と福祉を
- 4、質の高い教育をみんなに
- 5、ジェンダー平等を実現しよう
- 6、安全な水とトイレを世界中に
- 7、エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- 8、働きがいも成長も
- 9、産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10、人や国の不平等をなくそう
- 11、住み続けられるまちづくりを
- 12、つくる責任、つかう責任
- 13、気候変動に具体的な対策を
- 14、海の豊かさを守ろう
- 15、陸の豊かさを守ろう
- 16、平和と公正をすべての人に
- 17、パートナーシップで目標を達成しよう

その他:  \_\_\_\_\_

質問 8 にスキップします

社会的インパクト・マネジメントの実施状況に関する質問

8。 1、社会的インパクト・マネジメントの実施目的として当てはまるものをすべてお選びください。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 組織メンバーの事業目的や成果に対する理解を促進し、士気を向上させるため
- 事業目的や成果に対する関係者（資金提供者含む）の理解を促進するため
- 事業とSDGsの関係を整理し、事業戦略の検討や経営における意思決定に利用するため
- 事業目的と事業のロジックを組み立てて、事業内容や運営方法の改善に利用するため
- 資金調達につなげるため
- 新規事業を開発するため
- 投融資判断の追加検討項目とするため
- 支援先組織のSDGs貢献を可視化するため

その他:  \_\_\_\_\_

9。 2、昨年度の神奈川県事業実施以降における、社会的インパクト・マネジメントの取り組み状況について、当てはまるものをすべてお選びください。（金融機関の方は自社の事業、中間支援組織の方は支援先について教えてください）\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 【Plan】社内で検討をおこなった（目的の明確化、対象事業の確認、社会課題の分析）
- 【Plan】目標実現に向けて、ロジックモデルを作成した
- 【Plan】ロジックモデルに基づいて、指標と調査計画を設定した
- 【Do】実際の事業において、データの収集を行った
- 【Check】収集したデータを基に、成果や課題に関する分析を行った
- 【Act】分析結果をステークホルダーに報告した
- 【Act】分析結果に基づいて、改善策の検討と実行を行った

その他:  \_\_\_\_\_

<p>10. 3、社会的インパクト・マネジメントの実施において、以下のPDCAの各段階でうまくいっている点をすべて選んでください。*</p> <p>全体に関する点については、その他に記載ください。</p> <p>当てはまるものをすべて選択してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 【Plan】 目的の明確化、対象事業の確認、社会課題の分析</p> <p><input type="checkbox"/> 【Plan】 ロジックモデルの作成</p> <p><input type="checkbox"/> 【Plan】 指標と調査計画の作成</p> <p><input type="checkbox"/> 【Do】 実際の事業において、データの収集を行った</p> <p><input type="checkbox"/> 【Check】 収集したデータを基に、成果や課題に関する分析を行った</p> <p><input type="checkbox"/> 【Act】 分析結果をステークホルダーに報告した</p> <p><input type="checkbox"/> 【Act】 分析結果に基づいて、改善策の検討と実行を行った</p> <p><input type="checkbox"/> うまくいっていると思える点はない</p> <p>その他: <input type="checkbox"/> _____</p> <p>11. 4、上記について、うまくいっている要因を教えてください。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>12. 5、社会的インパクト・マネジメントの実施において、以下のPDCAの各段階でうまくいっていない点をすべて選んでください。*</p> <p>全体に関する点については、その他に記載ください。</p> <p>当てはまるものをすべて選択してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 【Plan】 目的の明確化、対象事業の確認、社会課題の分析</p> <p><input type="checkbox"/> 【Plan】 ロジックモデルの作成</p> <p><input type="checkbox"/> 【Plan】 指標と調査計画の作成</p> <p><input type="checkbox"/> 【Do】 実際の事業において、データの収集を行った</p> <p><input type="checkbox"/> 【Check】 収集したデータを基に、成果や課題に関する分析を行った</p> <p><input type="checkbox"/> 【Act】 分析結果をステークホルダーに報告した</p> <p><input type="checkbox"/> 【Act】 分析結果に基づいて、改善策の検討と実行を行った</p> <p><input type="checkbox"/> うまくいっていないと思える点はない</p> <p>その他: <input type="checkbox"/> _____</p>	<p>13. 6、上記について、うまくいっていない要因を教えてください。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>14. 7、社会的インパクト・マネジメント（SIM）実施において、貴組織の組織内外の環境について、実現できているものをお選びください。*</p> <p>当てはまるものをすべて選択してください。</p> <p><input type="checkbox"/> SIM実施に充てるリソース（資金、時間、労力）が確保されている</p> <p><input type="checkbox"/> 経営陣はSIMの実施に意欲的である</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの従業員はSIMの実施に意欲的である</p> <p><input type="checkbox"/> SIM実施の意義や目的が組織内で共有されている</p> <p><input type="checkbox"/> SIM実施の意義や目的が組織外の関係者と共有されている</p> <p><input type="checkbox"/> SIMの活用に向けて組織内で前向きに対話出来る関係性や土壌がある</p> <p><input type="checkbox"/> SIMの活用に向けて組織外の関係者と前向きに対話出来る関係性や土壌がある</p> <p><input type="checkbox"/> データ収集等の実施体制について関係者と協力関係が構築されている</p> <p><input type="checkbox"/> 支援先組織はSIMの実施に意欲的である</p> <p>15. 8、組織全体として取り組むために、関係者を巻き込むための工夫等あれば教えてください。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>16. 9、社会的インパクト・マネジメント実施の今後の見通しについて教えてください。*</p> <p>1つだけマークしてください。</p> <p><input type="radio"/> 今後は今まで以上に実施する予定である</p> <p><input type="radio"/> 今後も今までどおり実施する予定である</p> <p><input type="radio"/> 今後は実施する予定はない</p> <p><input type="radio"/> その他: _____</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

質問 17 にスキップします

SDGs社会的インパクト・マネジメント×金融（以下、「神奈川モデル」とする）に関する質問

17. 1、（事業者の方へ）資金調達に関して、金融機関等との連携状況について教えてください。

1つだけマークしてください。

- 資金調達のアイデア段階（具体的な資金調達先は未定）
- 既に具体的に資金調達先と議論を進めている
- 既に資金調達の目処が立っている
- 資金調達は想定していない

18. 2、上記の状況について、詳しく教えてください。

検討に至っていない場合はその理由を、社内で検討を進めている場合は現状を、金融との具体的な検討を進めている場合は何がどのように役立ったのかをお答えください。

---



---



---



---



---

19. 3、昨年度、一昨年度の神奈川県事業に関して、貴組織がSDGs社会的インパクト・マネジメントを推進する上で有効であったこと/ものを教えてください。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 神奈川県SDGsインパクト・マネジメントセミナー「SDGs×評価×金融」（2019年度7月・12月開催）
- SDGs社会的インパクト・マネジメント実践研修（2019年度、全10回）
- 神奈川県SDGsモデル事業 成果報告会（2019年度3月開催）
- 神奈川県SDGsモデル事業 成果報告会（2018年度3月開催）
- 各実証事業
- 実践ガイド（県HPで公開）
- 委員会

その他:  \_\_\_\_\_

20. 4、上記に関して、どのように有効であったか、その理由を教えてください。

---



---



---



---

21. 5、神奈川県事業以外のリソースに関して、貴組織がSDGs社会的インパクト・マネジメントを実践するにあたり参考にしたものを教えてください。\*

当てはまるものをすべて選択してください。

- SIMI（社会的インパクトマネジメントイニシアチブ）の事例集やフレームワーク
- SIMIのイベント
- IMP（Impact management project）のウェブサイト情報
- SDG Compassの情報
- 公開されている指標のツールセット（IRIS+など）
- 特に参考にしているものはない

その他:  \_\_\_\_\_

22. 6、上記を活用している理由について、詳しく教えてください。

---

23. 7、貴組織がSDGs社会的インパクト・マネジメントを推進する上で足りないと感じているリソースや環境があれば、教えてください。

---



---



---



---



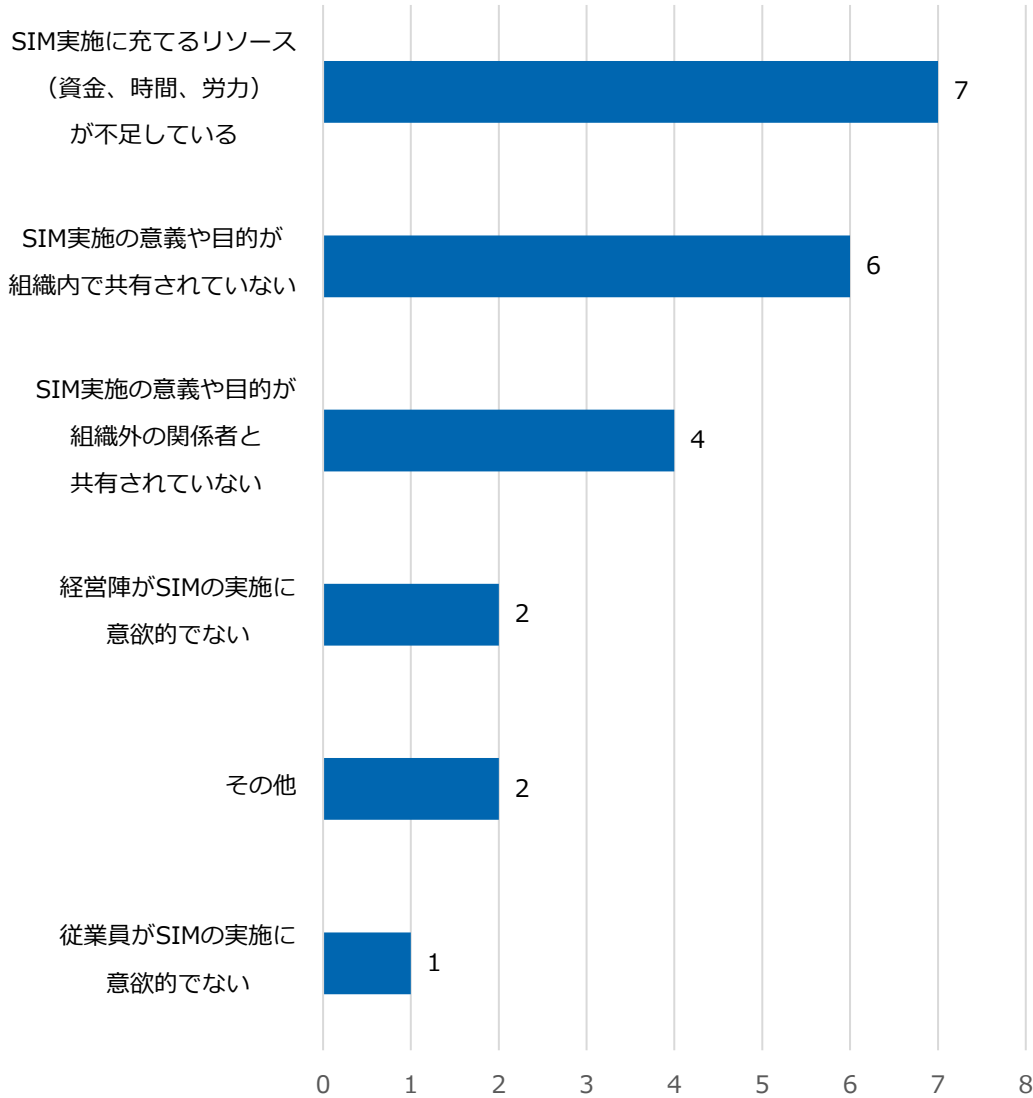
---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

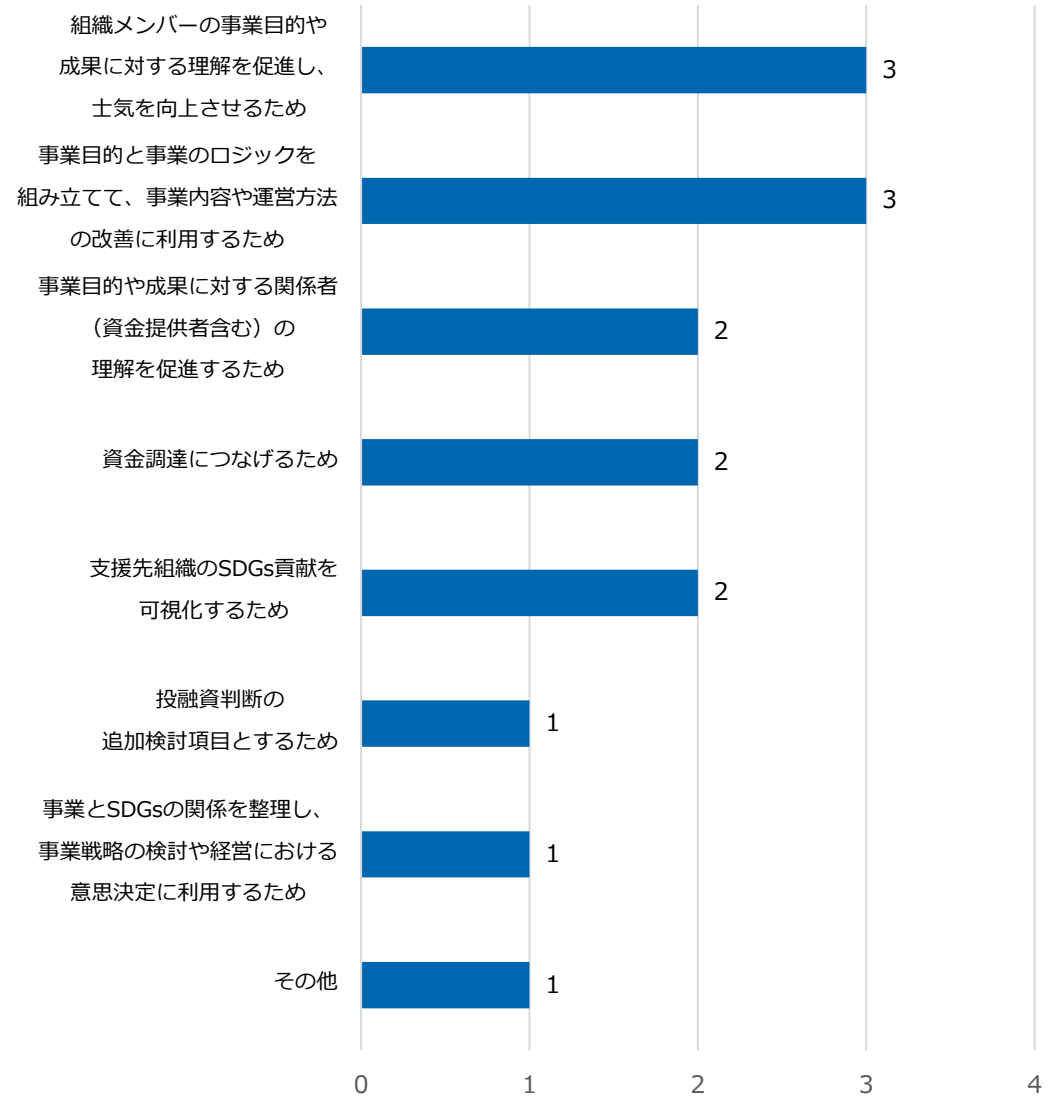
Google フォーム

# 参考 (4) アンケート調査集計結果

Q2-1 社会的インパクト・マネジメント（SIM）実施への障壁を教えてください。



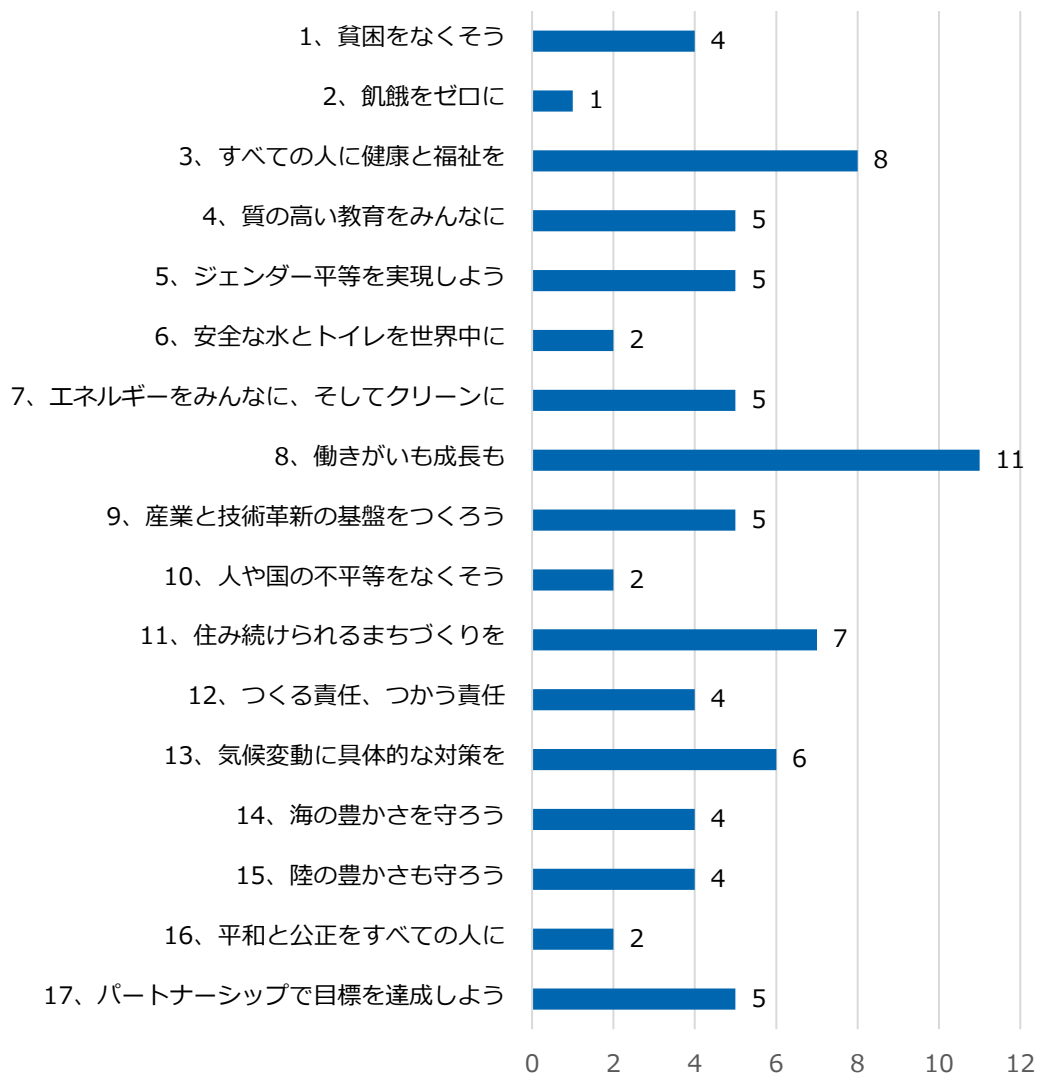
Q2-3 2-2で「検討している」と回答した方は、その理由として当てはまるものをすべてお選び下さい。



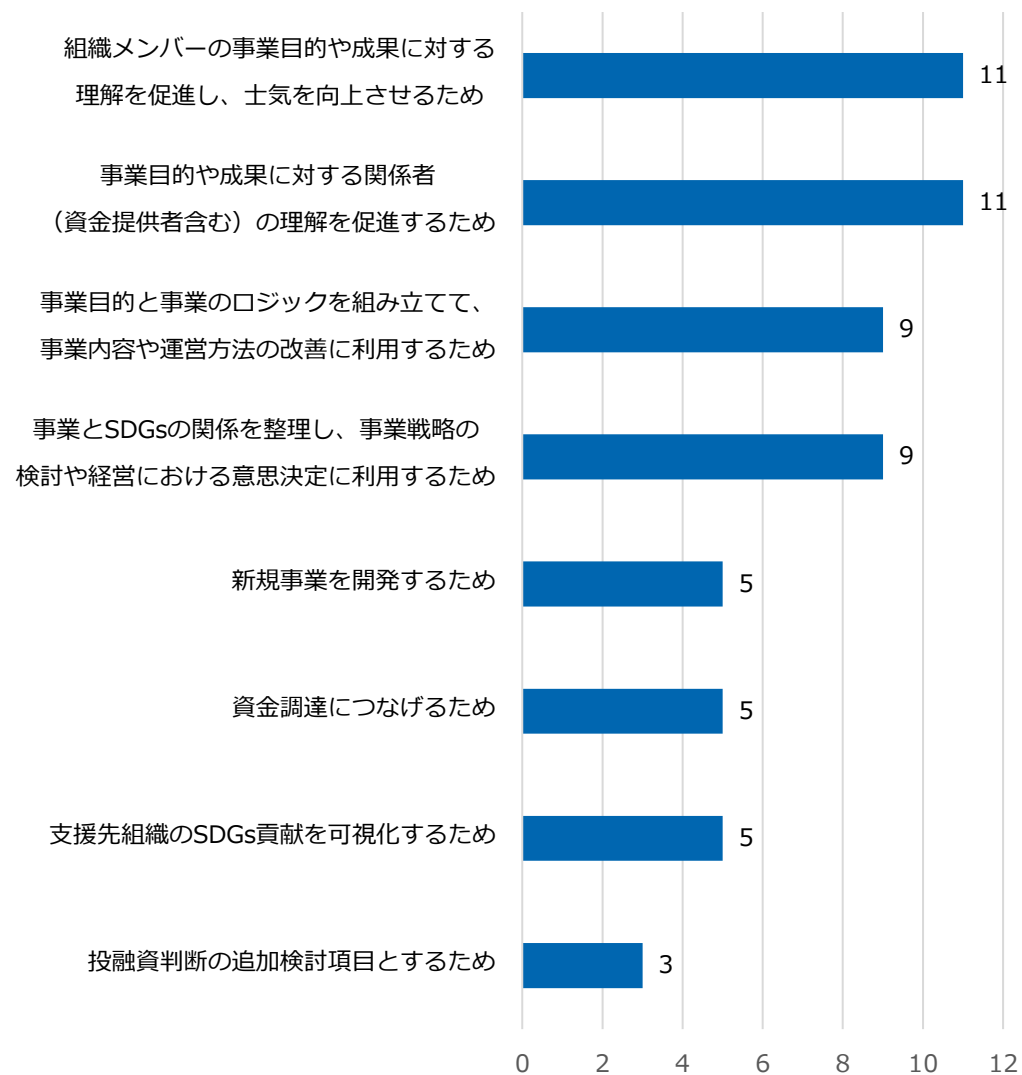


# 参考 (4) アンケート調査集計結果

Q3-2 事業に関連するSDGsを全て選択してください。

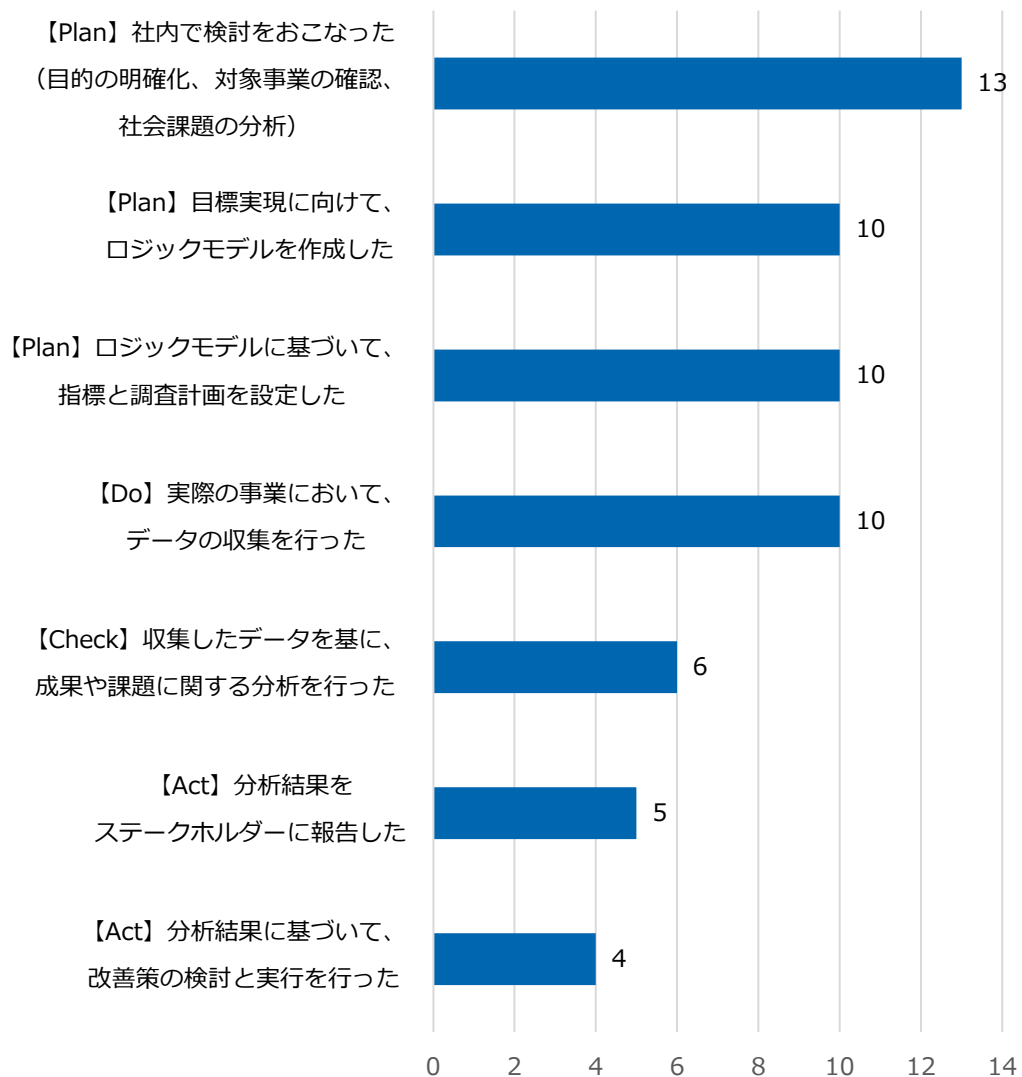


Q4-1 社会的インパクト・マネジメントの実施目的として当てはまるものをすべてお選びください。

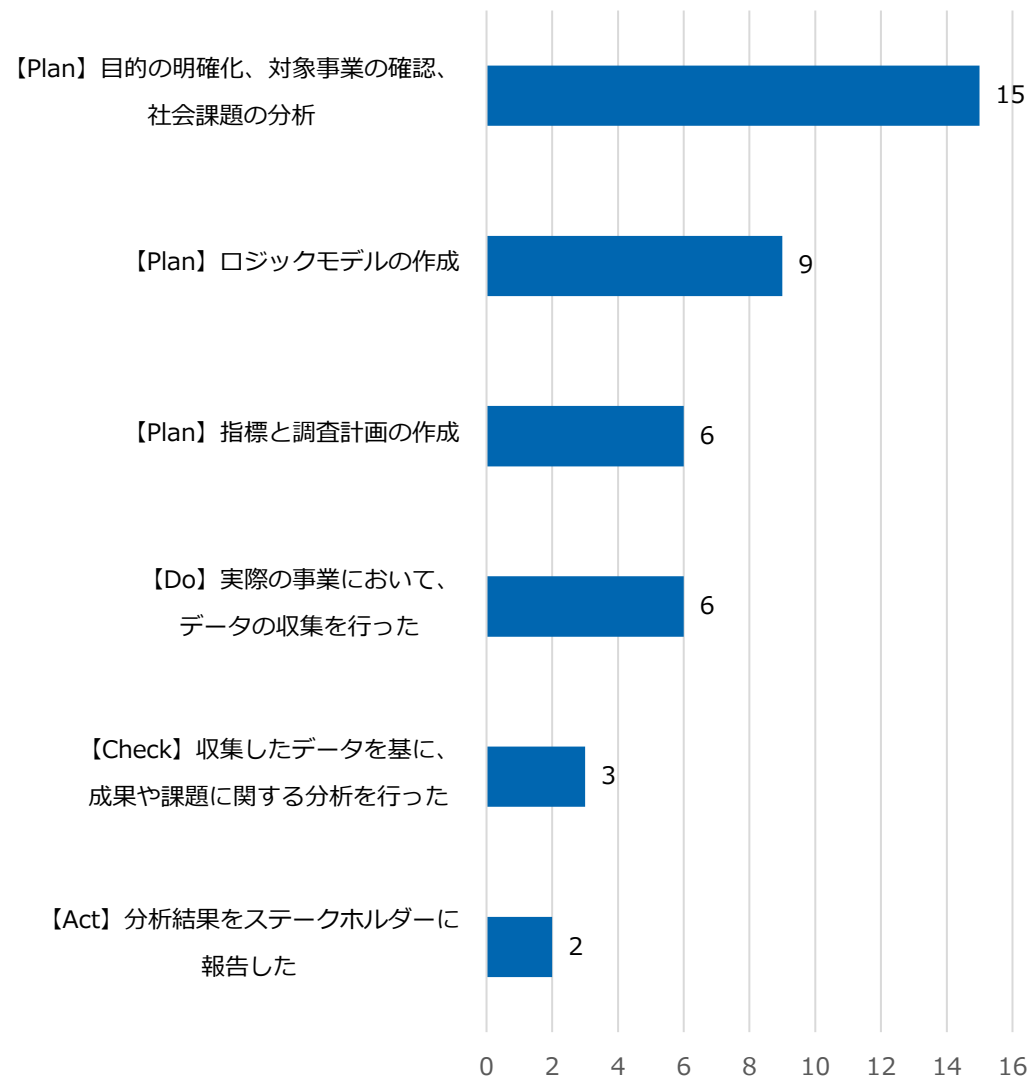


## 参考 (4) アンケート調査集計結果

Q4-2 昨年度の神奈川県事業実施以降における、社会的インパクト・マネジメントの取り組み状況について、当てはまるものすべてお選びください。

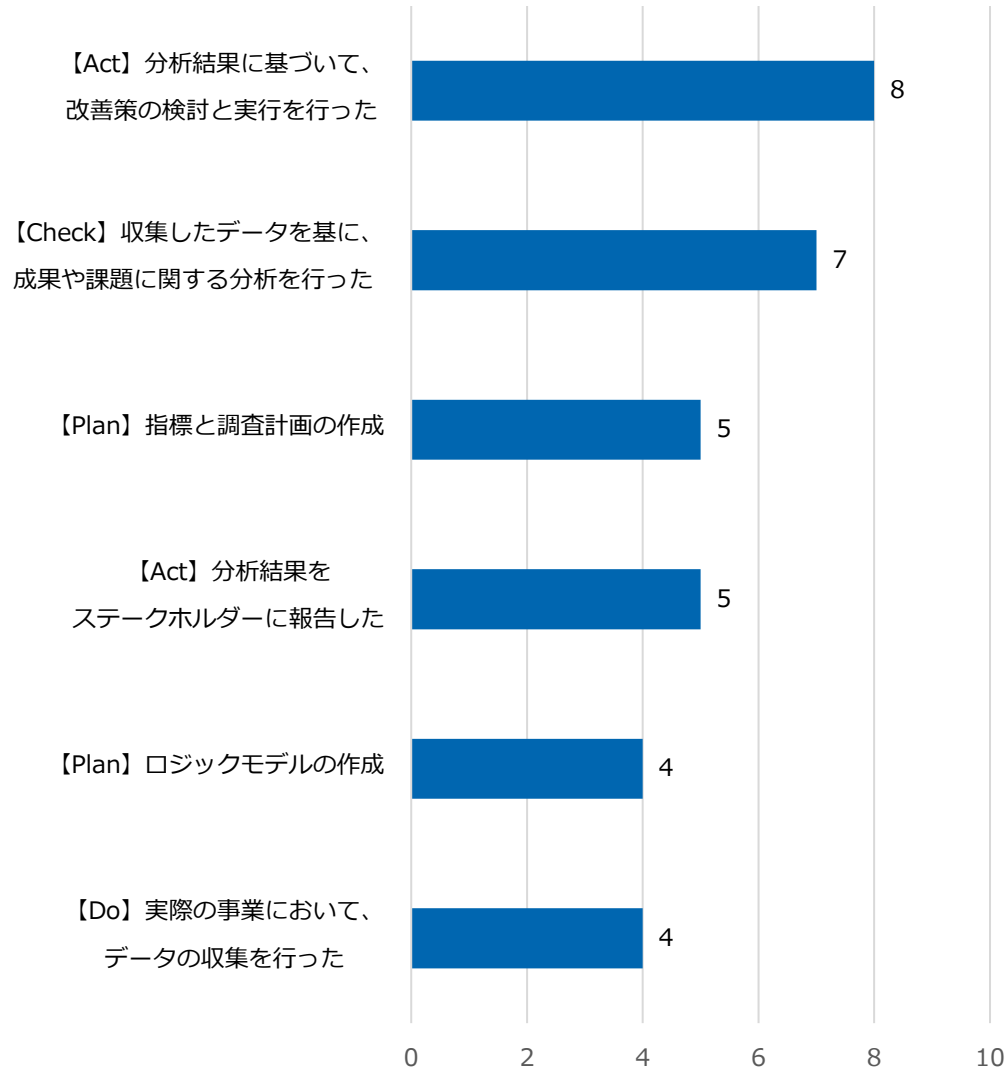


Q4-3 社会的インパクト・マネジメントの実施において、以下のPDCAの各段階でうまくいっている点をすべて選んでください。

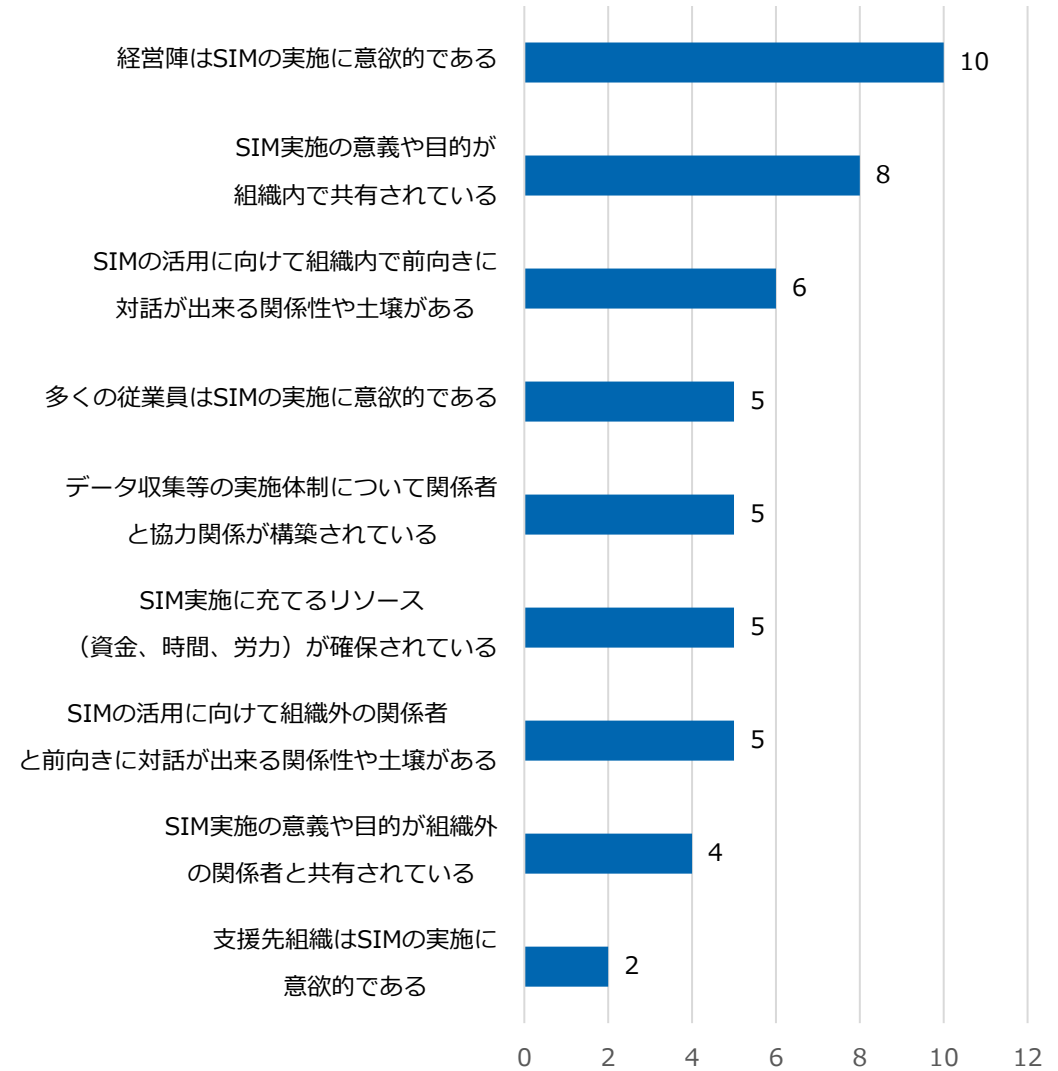


## 参考 (4) アンケート調査集計結果

Q4-5 社会的インパクト・マネジメントの実施において、以下のPDCAの各段階でうまくいっていない点をすべて選んでください。

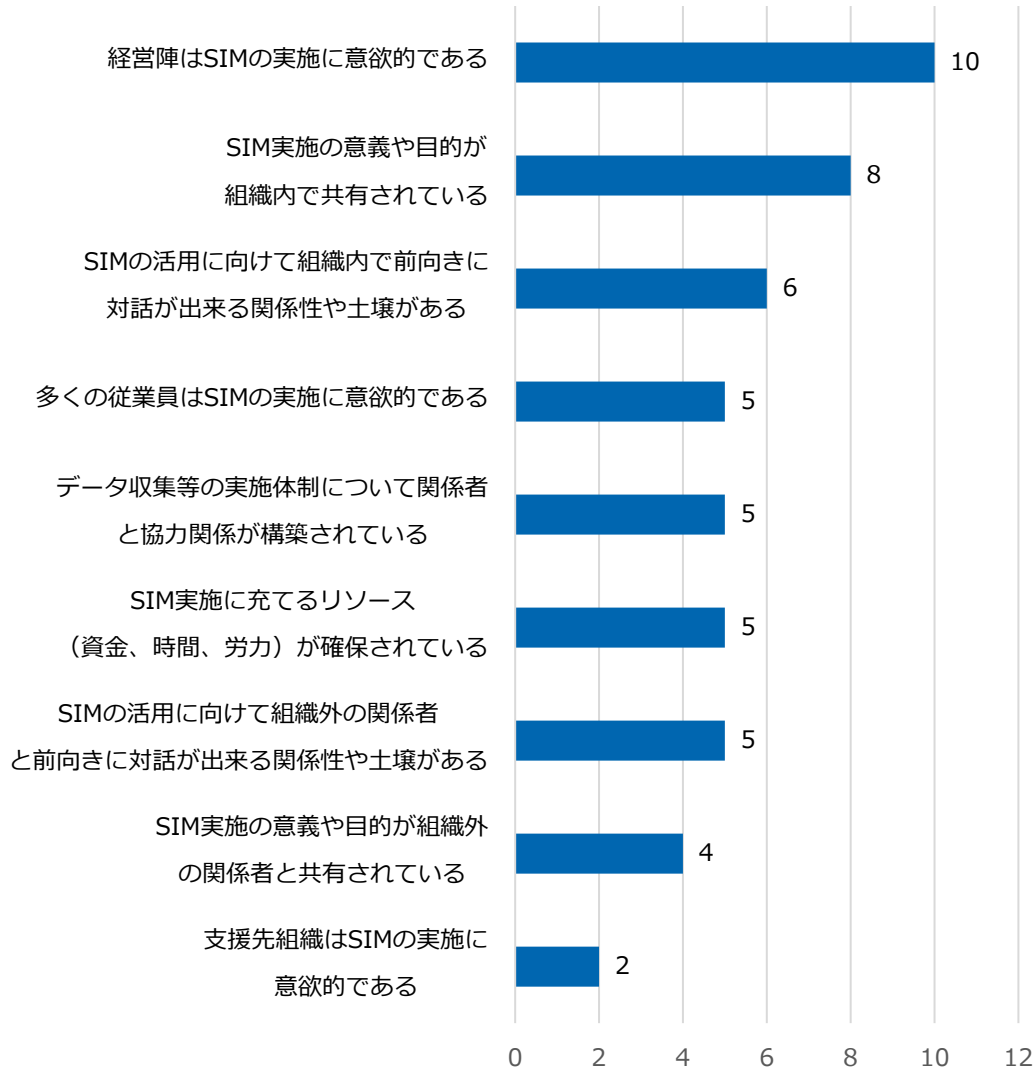


Q4-7 社会的インパクト・マネジメント（SIM）実施において、貴組織の組織内外の環境について、実現できているものをお選びください。

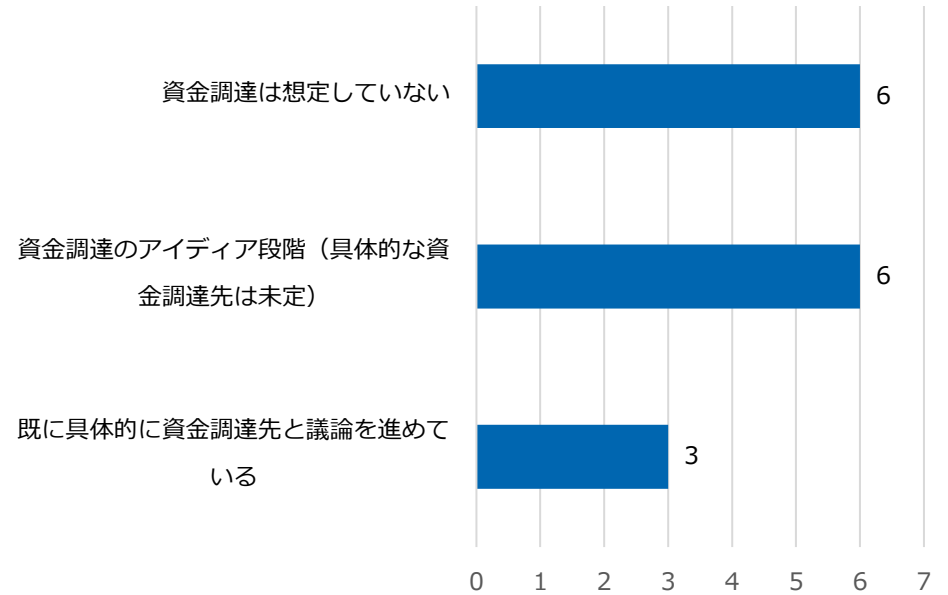


## 参考 (4) アンケート調査集計結果

Q4-7 社会的インパクト・マネジメント（SIM）実施において、貴組織の組織内外の環境について、実現できているものをお選びください。

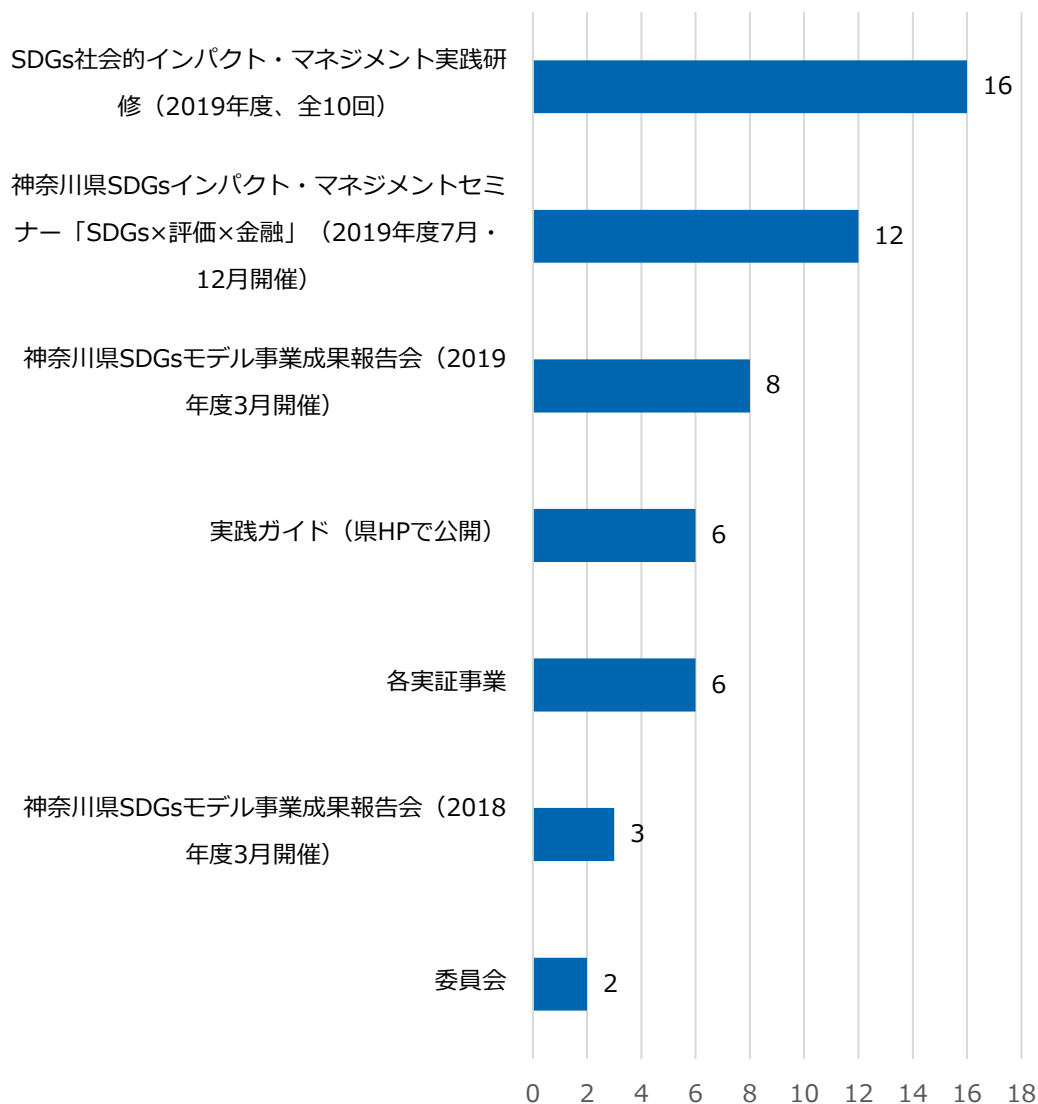


Q5-1（事業者の方へ）資金調達に関して、金融機関等との連携状況について教えてください。



## 参考 (4) アンケート調査集計結果

Q5-3 昨年度、一昨年度の神奈川県事業に関して、貴組織がSDGs社会的インパクト・マネジメントを推進する上で有効であったこと/ものを教えてください。



Q5-5 神奈川県事業以外のリソースに関して、貴組織がSDGs社会的インパクト・マネジメントを実践するにあたり参考にしたもの/ものを教えてください。

